京城日報

十七日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

◎廣東の革命軍勢熾ん
廣東灣北海一帶を占領し―次で廣東城に志すもの〻如し

某所に達せる情報に據れば廣東省瓊州島唐將軍の率ゆる第六軍五千人は革命黨に應じ獨立第五軍と共に增城に進擊したるが同地駐屯兵千人を併せ船にて順德に上陸し李將軍之を指揮し官軍を擊破して更に香山縣に入り五千の兵を集め廣東灣北海岸一帶を占領して十五日高州を完全に奪取し其勢ひ倍々熾んにして更に道を南に求め廣東城を志すもの〻如く廣東は爲めに動搖しつゝありと（東京特電）

◎墺匈國對葡宣戰布告

倫敦來電に據れば墺匈國は葡萄牙に對して宣戰を布告したりと（東京電報）

◎獨軍ヴ要塞の南に進出す

獨軍はヴエルダンの南方ベタンクールの西南に進出し佛軍の捕虜一千二十五名を得たり（紐育電報）

▲又西方森林も奪取 獨軍はヴエルダンの西方に連なるキユミエル森林の一部を奪取したりと（紐育電報）

◎獨軍の甚大なる損害
ムーズ西方の激戰―獨軍僅に足場を得たるのみ

巴里公報に曰く、ムーズの西方なるベチンクールよりスミエルに至る我陣地に對する敵の重砲砲擊は倍々猛烈となれり獨軍は十四日午後右の部分に對し最も激烈なる攻擊を行ひたるも甚大なる損害を蒙りてセムンセンより一般に擊退されて僅にベチンクールとモルソンムルとの間に於ける我塹壕中の二地點に足場を得たるのみなりムーズ東方及びウーブル地方に砲兵隊の活動を見たるも歩兵の攻擊は無かりき（倫敦電報）

◎獨逸海洋大臣更迭

倫敦來電に據れば獨逸海洋大臣チルピッツ氏は這回辭職しフオンカペレ氏其の後任となれりと（東京電報）

◎帝國軍艦東洋警戒

英國軍艦ローゼンチック號に代はり帝國海軍は今後東洋警戒の任務に服す可しと（東京電報）

◎二驅逐艦進水

中型驅逐艦二隻去る三月十五日吳海軍工廠に於て進水式を擧行せりと（東京電報）

◎臨檢事件と野黨

在野黨は院內院外團相呼應し英艦不法臨檢事件に對する政府の態度措置を材料とし政府攻擊の氣勢を昂げ來れり（東京電報）

◎海運業者陳情 英艦邦船臨檢に對し

神戶海運業組合は組合の決議を經て英艦の我商船臨檢不法行爲に對し英國政府に抗議提出方を當局に陳情したり（東京電報）

◎日銀の內債引受

既定の內債六千萬圓は日本銀行に於て引受くる事となり一切の方針確立したり（東京電報）

◎航路區城擴張運動

各社外船主は近海航路區域擴張に關し昨今當局に向つて熾んなる運動を開始したり（東京電報）

◎寺內總督快癒

十五日來風邪の氣味にて咽喉を害し引籠中なりし寺內總督は十七日は殆んど快癒したるが其間官邸にて政務を視たりと

◎總督邸午餐會

寺內總督は十八日午後零時三十分より官邸に於て目下入京中なる萬國聯合共勵會々長クラーク博士、同夫人及び日本聯合共勵會々長ペテー博士を主賓とし午餐會を催す筈なるが米國總領事、同夫人、渡邊高等法院長、同夫人、持地土木局長、同夫人、小松翰長、森、白井兩武官、德富猪一郎氏山本澤谷兩牧師等も陪席として招待せらる可しと

◎荒井長官歸任期

荒井度支部長官は三月十日歸任の豫定なりしも事務の都合に依り三週間延期本月末歸任に決せる旨は昨紙既報の通りなるが東京出發は二十日頃と爲る由某所に通知ありたり

◎兒玉局長歸任期

兒玉總務局長は十六日午後四時東京驛發歸任の途に就けるは昨紙東電所報の通りなるが南大門驛着は十九日夜となる可し

◎豐邊騎兵監歸東

騎兵隊檢閱の爲め入京中なりし騎兵監豐邊新作中將は副官小畑豐之助中佐を隨へ十七日午前八時三十分南大門發歸東の途に就く

◎ハリス博士出發

ハリス博士は十七日午前八時五十分南大門驛發汽車にて內地に向け出發したり同驛には博士年來の知己友人、各國宣敎師等多數の見送りありたり

◎ク博士の動靜

十六日朝入京したるクラーク博士の一行は十七日午前總督府を訪問し來鮮の挨拶を爲したる後高等普通學校其他を視察し午後四時より各敎會聯合の歡迎會に臨席夜は八時半より講演會に於て講演を爲す

◎長官會議延期

十七日は定例長官會議日なりしも都合上延期となりたり

◎金鑛とドレツヂャー使用

朝鮮に於ける砂金鑛の主なるものは淺野氏の經營に係る順安金鑛及び淺野、渡邊兩氏及び西洋人某氏の合同採掘する稷山金鑛なるが兩鑛共鑛區の廣潤なるに拘はらず未だ各砂金鑛同樣手掘にて順安の如き千餘人の鑛夫を使役し居る由なるが今回稷山にては東洋の砂金界に其の類なきドレツヂャーを使用採鑛する事となり既に米國に註文の機械は製造地を最近發送せし由傳へらるゝが此の機械は價格卅萬圓以上を要すると殆んど總べての採金作業が機械力に依る爲め使役工夫は僅少にて足る由なれば兩金鑛共其の採用の結果多くの鮮人失職者を出す事は非常の苦痛なるもの〻如し尚ほ土中の含金量は手掘りの七十に對しドレツヂャーは九十五以上を採取し得べしと（平壤）

◎稷山金鑛と電力

忠淸南道の稷山金鑛株式會社にては採掘に要する電力供給のため今回成歡に發電所を設くることゝなり目下敷地の地均工事中なるが本年八月頃迄には發電の運びに至る可く電力の一部を成歡邑內にも供給すべしと

◎交代兵通過

十六日午前十一時四十六分龍山驛着列車にて交代兵中澤大尉以下二百十四名到着內百四十二名は龍山に宿泊し十七日出發江原道に赴き殘りの七十二名は中澤大尉引率にて平康に向つて十六日午後四時十六分出發せり

◎聯絡船傭入

鐵道院にては關釜聯絡船に現在使用中のものより噸數速力其他諸般の準備に於て一層優秀なる汽船を使用するの必要ありとなし新船製造を企てつゝあるも何分造船界の騰貴其他の關係よりこの際造船計畫を遂行し能はざる事情あるを以て應急の策として一時海事協會所有の櫻丸（三千二百〇四噸）を再び關釜連絡船として傭ひ入れするに決し目下交涉中なるが愈々櫻丸傭船確定の上は現在使用の弘濟丸は寄關連絡に當らるゝ筈なりと（門司）

◎永信學校卒業式

私立永信學校にては十八日午後二時宗橋禮拜堂に於て同校第二回卒業證書授與式を擧行す可しと

◎辭令

十六日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府判事 稲常藏
朝鮮總督府判事懲戒委員を命す
同 前澤成美
同 淺田賢介
朝鮮總督府判事懲戒豫備委員を命す（各通）
同 鈴木伍三郎
朝鮮總督府判事懲戒委員を免ず

平壤

▲牛皮改良事業 押しなべて朝鮮の牛皮は製品不良之れを內地品に比すれば格段の差ある◎當局にては平南を中心とする牛皮の改良を主とし牛皮製法の改良を企畫する一事業を目論見之れを民間に諮らんとしつゝあり屢報せし骨粉製造事業と共に極めて有利の計畫なる如く相當手を加ふれば百斤に付現價より十五圓內外の高値を保ち得べしと

▲會議所と市民 平壤新商業會議所の設立は先月二十五日認可の指令あるべしとの情報當地の信ずべき筋にあり市民は其後今日明日と每日指令の來るを待望しつゝあるが昨今は容易に認可の下らざる模樣なるより議出せんとせし評議員の候補者も茲許聊か拍子拔けの氣味あり

▲人事一束 勅使河原地方法院長は官民多數の出迎ひを受け十五日着任▲平北地方に出張中なりし篠田道第一部長は十六日歸廳せり▲富永道事務官は二十日より月末迄平原郡地方の行政狀況を視察すべし▲青木遂安金鑛主幹は同鑛の外人と共に十六日海州より來讓十八日歸州の筈▲病氣にて辭表提出中なりし肅永南浦府書記栗井平原郡書記は十五日依願免官の辭令發表さる

星州より　默心

▲星州は慶北に於ける小部會農業を以て生活の基礎とすべき地なり鮮農家も內地人移住者も只管此心を以て日常生活を營む嘉みすべく慶すべき現象なり

▲星州の南方に當り南鮮の金剛山たる伽倻の連峰あり屹として天を摩す是に向へば覺えず襟を正うす莊嚴にして冒す可らず人文地理をして異ならしめば星州住民又此山の精を受くるに吝ならず

▲親友のある所第二の故鄕也故鄕を愛するは人情の美なり余は星州を愛し親友の健康を祈る此の如くにして惜別の情を湛へ星州を去る

仁川

▲仁川府協議會 仁川府協議會は來る十八日午後一時より召集し大正五年度仁川府歲入出豫算及び汚物掃除請負契約の件外五議案を諮問すべし

群山

▲定款修正 群山新商業會議所を設立すべく曩に其筋に向て認可申請中なりしが提出定款に多少修正を要する點ありとて却下せられたるを以て直に修正を加へ再提出の筈なれば近く新會議所の設立を見るに至るべし

▲府協議會 群山府大正五年度歲入出豫算に關し去る十一日府協議會を開きたるが全部議了するに至らず十五日再び開會引續き協議する所ありたり

臨陂

▲小學校設立 全北沃溝郡臨陂[illegible]川崎農場主[illegible]小學校設立認可[illegible]三月六日附を以て[illegible]四月一日より開校の豫定[illegible]川崎氏の特志を以て[illegible]學童數は約十七八名ありと

大邱

▲五年度府豫算 大邱府にては既に五年度の豫算編成を了し十七日より府協議會開會中なるが今其歲入出を區別すれば

▲（歲入）經常部豫算四萬七千五十六圓▲臨時部豫算十五萬六千九百九十三圓▲合計二十萬四千四十九圓▲（歲出）經常部三萬四千七百四十一圓▲臨時部十六萬九千三百八圓▲合計二十萬四千四十九圓

にして是を四年度に比し歲入經常部に於て三千六百四十九圓を增し臨時部に於て四萬六千七百八十七圓を減じ合計差引四萬三千百三十八圓を減少せり而して歲出經常部に於て四年度に比し經常部に於て九十九圓を增し臨時部に於て四萬三千二百三十七圓を減じ合計差引四萬三千百三十八圓を減少したるが要するに五年度豫算は努めて緊縮主義を執り計畫を樹て歲出經常部は隔離病舍の經營費更火葬場の經營整備機關の擴張等を爲せしに拘らず前年度豫算に比し僅に九十九圓の增加に過ぎず而して歲入に至りては府の現狀に鑑み府民の負擔加重を避け事業の經費及び自然の增收並に經理上節約より得たる繰越金を以て緊急止むを得ざるの事業を經營せんとするものにして歲計總額二十萬四千四十九圓の內經常部に屬する收入四萬七千五十六圓を以て歲出經常部に屬する三萬四千七百四十一圓を支辨し一萬二千三百十五圓の殘金を生ずべきに依り之に臨時部に屬する收入十五萬六千九百九十三圓を加へ合計十六萬九千三百八圓を以て臨時事業費に充當せんとするの目的を以て豫算を編成せしものなりと

▲耕作者の光榮 本紙既報の如く陛下に御嘉納あらせられたる朝鮮產內地葉貨の原料は慶北達城郡鳳山洞の耕作地より獻納したるものにて是を知りたる鳳山洞耕作民は無上の光榮を感謝し一層精勵すべく努力し居れり

▲煙草苗床準備 大邱地方特產物たる煙草耕作は漸次苗床準備著手期となり專賣局大邱出張所にては已に是が準備を了し兩日中に播種すべし

▲桑苗配附終了 慶北記念植桑種苗は過般來續々原產地愛知縣より著荷しつゝあるが本月十八日に著荷の分は三月二十日に悉皆配附を終了すべしと

▲學校組合新設計畫 慶北盈德郡寧海、迎日郡興海にては漸次移住民增加し小學校設立の必要迫り五年度には學校組合を新設すべく目下當局と交涉中なるが實際視察の爲め廿日頃吉田慶北事務官出張の豫定なりと

▲乃城府珍線踏查 慶北乃城より江原道府珍に至る二等線は道界鐵嶺線として改築せざる可らざる線路なるを以て慶北道にては過日來矢吹道技手を派し實地踏查をなさしめたるが高峻なる嶽多く到底車道たる可き路線に非ず江原道界線は他に踏查するの必要ありと

▲吉田事務官出張 記念植桑視察狀況及び迎日水利組合起工式臨席を兼ね十七日より二週間の豫定にて慶州浦項、興海、盈德、眞寶地方へ出張す

成歡より　沽泉生

松崎大尉を以て名高き成歡は忠南の一村驛に過ぎざれど此の地稅の成績頗る良好、小原道長官の創意になると云へる納稅獎勵の赤旗『完納』が邑內一歩行客主家の軒頭に飜れるを見る。成歡金融組合は少壯理事河野千敏君の司る所、最近農業資金の貸出一萬二三千圓に達し償還の成績亦佳良。共進會より銅牌を授けられたる程なり。成歡は二百萬圓の大鑛業會社稷山金鑛を附近に控へたることゝて小なりと雖も景氣殷盛近く安城郡と成歡とを連絡する輕便鐵道二十萬圓の株式會社に依つて敷設を見んとしつゝあり內地人の居住する者三百五十にして鮮人部落に混住し掘立小屋に住めども小千圓小一萬圓の蓄財ある者多しとは頼母し

釜山

▲蔚山鯖の豐漁 慶南蔚山沖合には昨年秋鯖以來多少の魚群ありて釜山市場へも斷えず水揚げありしが本月に入り其漁獲數最少數にても日々二千尾を下らざる有樣にて十六日の如きは二萬以上の大入津あり一尾六錢の安價にて取引出來たり之れ如何なる原因かと對州海峽より日本海に通過する暖流の勢ひ甚だしき結果例年に比し海水の溫度高き爲め之れに起因し斯の如き不時の盛漁あるならんと

▲運賃引下げ申請 釜山水產會社市場專屬仲買人は日々水揚品を鐵道沿線各地に向け送附しつゝあるも尤も多きは京城市場とす然るに今日迄の鮮魚は京城相場高價なるにも拘らず常に不引合にて一向利益を見たる事なきは是れ全く鐵道運賃比較的高率なるに依れりとなし同會社に於ても種々な調査の結果今回鐵道局に對し運賃率引下げ方を申請せりと

▲藥業組合定期總會 釜山藥業組合にては十八日午後七時より鳴戶樓に於て定期總會を開會する筈なり

▲初學期入學兒童 四月一日より釜山學校組合立各小學校へ入學すべき學童にして十五日迄に屆出でたる數六百三十名なるも今未屆者ある模樣なれば其期日切迫に付兒童の通學區域大略分決定せり而して四月一日午前九時より各區學校に於て入學式を擧行すべし

▲拜觀記念品 釜山商業會議所會頭迫間房太郞氏より御大典式場拜觀に對し金[illegible]の寄附ありし其處分に就ては團員一行並に關係者に記念品を贈つ事とし一行協議の結果御大典に因める優美なる帛紗を購求し團員一同及び會頭は勿論會議所關係者外各新聞社並に各支局に配布せり

下の關より

歐洲戰亂以來諸般の物價騰貴したる中にも金物類特に白金は甚だしき大暴騰を現出致候斯は藥品染料輸入杜絕等の邪術の爲めにて內地に於て藥品製造所の激增さなり醫藥加里製造工場の如きは非常の數に上りたるために白金の使用激增し各工場の買收のため二十八圓二十錢てふ高値を現出するに至りたる爲め俄に各方面よりの白金市場に溢れ供給過剩を見るに至りたれば忽ち白金の值下を來し一需用の減退と相待て價格持切れず漸く崩落の形勢を示し來れるが有力筋よりの入電に依れば市價暴落の爲め販賣を中止するに至れりと申候

人事消息

▲岡忍氏（醫師） 十六日內地より歸京
▲クラーク氏（博士） 十六日入京南大門通セブランス病院エビソン氏方へ
▲ペテ氏（博士） 同上
▲澤谷辰次郎氏（共勵會幹事） 十六日入京旭町一丁目山本忠美氏方へ
▲三井榮長氏（技師） 南鮮の出張先より十六日夜歸任
▲スミス氏（與良敎會牧師） 十六日夜內地より歸京
▲藤岡潔氏（牧師） 二十日內地より歸京の筈
▲岸本鹿太郞氏（參謀本部第六課長） 入京中の處十七日朝出發歸東
▲西村信敎氏（滿鐵營業課長） 入京中の處十六日朝退京大連へ
▲古城菅堂氏（京城府議員） 十六日歸京
▲鹽谷智隆氏（營繕課長） 官有地取調の爲め近々始興郡へ出張の筈
▲野口次郎三氏（農務課技師） 十六日江原道に出張
▲渡邊晉氏（總督府醫院官） 學術取調の爲め二週間の豫定にて近々東京に出張
▲水津信治氏（同上） 同上
▲吉木彌三氏（總督府醫院藥劑官） 同上
▲久慈直太郎氏（總督府醫院副醫官） 同上
▲太田格良氏（騎兵第九聯隊長） 檢閱の爲め入京中の處十六日朝發元山を經て羅南へ歸隊
▲高橋勝彥氏（第九師團軍醫部長） 十六日朝元山へ
▲小池寬治氏（鐵道局技師） 鐵道及び關道調査の爲め十七日朝入京直に鐵道局訪問
▲杉山茂丸氏 十七日夜南大門驛出發の列車にて歸東
▲松井信助氏（鐵路務院長） 十六日より十日間の豫定にて西鮮地方へ出張
▲寺田恒太郞氏（京城覆審法院檢事） 十日より管內出張中の處十七日夜歸任
▲吉田彌吉氏（鳳岡縣代議士） 十六日入京山本旅館へ

醫書 醫學界の各教科書並に醫學參考書新古本取揃有 東京市本郷區元富士町二 明文舘

登錄商標 朝鮮 荒井 醬油釀造部

燒麩 各種製藥原料製造 大邱府翌町郵便局前 大野支店工場 電話二二七番

金銀器製作 始政記念朝鮮物產共進會に於て審査御銀杯に『意匠彫刻仕上等佳良にして製造品中進歩したる物なり』との御賞詞を賜はり且つ閑院宮殿下御買上げ並に金牌銀牌受領の光榮を荷ひ申候 銀器類の製作は整備せる機關により低廉短日にて需美的に調進可致候 貴金屬品の製作 時計眼鏡販賣 仁川本町 京岐商店 電話三七〇番 振替京城七二番 型錄及定價表無料進呈

朝米 致富之寄 御代進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 橋本猪作 電話長北二三四 振替口座大阪二四七二

慶北道廳 東拓會社 御指定 旅館 加賀屋 慶北尙州 熟練の料理番を增聘し特に御來客の待遇に注意致させ候へば何卒御愛顧の程願上候

東洋ボックス製編上靴 第一號 金十一圓九十錢均一 第二號 金十二圓五十錢均一 第三號 金十三圓八十錢均一 紳士向優良品ボックスカーフ製 金十四圓均一 同キットカーフ製 金十五圓均一

三倉商會高等靴店 東京市本郷區東片町九十二 電話下谷二一九七四

入京の三宗教家 (右上)クラーク博士(右下)ベテ氏(左下)クラーク博士夫人

●歐洲に於ける 平和團の大活動

卅有五年間宗教界に貢獻せる クラーク博士と語る

米國屈指の宗教家にして青少年教育家なる神學博士名譽博士エフ、イ、クラーク氏一行は十七日午後九時南大門驛着入京したり、記者は此の遠來の賓客を途中に迎へて刺を通じたるに當年六十九歳と云ふ白髪童顔の博士は長途の旅行に多少疲勞の色を見せつゝも莞爾として迎へられ、さて語つて曰く

米國基督信徒共勵會を創設してより三十有五年國家或は教派を問はず全世界の青年及び少年を宗教的訓練に因て教導し今日では

□四百餘萬人の會員 と十萬の共勵會を有し九十の教派を網羅して居る共勵會は銳氣横溢せる青少年を宗教的訓練により

敬神的にして且つ組織的なる活動を爲さしめようとするのが目的で初め米國に起り次に支那、印度に及ぼし今日では全世界に亙つて居る、共勵會は絶えず何等か新らしい德教上の問題を捉へて之れを改善し發達させて行かうとするのであるが目下歐羅巴に於ける數千の共勵會は

◇如何にして一日も早く ◇平和を來たらす可きか と云ふ大問題の爲に陰に陽に働いて居る歐洲の戰局は大にして且つ何時果つ可しとも思はれぬ此間に立つて少數の平和論者が『平和よ來れ!!』と絶叫すればとて何の反應も無いかも知れぬ併し此小さい聲が集まり集まつて始めて大なる力となり交戰國民を動かす樣なものとなることは信じて疑はぬ。自分は米國平和協會の副會長に擧げられ多年平和運動のために盡して來た米國には彼のカーネギ氏が

□二百萬弗の據金 に依て成立せる基督教會平和協會を始め數種の平和運動に貢獻して居る各團體がある是等の平和運動の團體が今日の戰局に對して如何なる働きをなしつゝありやと云に是と云ふ具體的の事業をして居ない、仕て居ないと云はんよりも出來ないと云つた方が妥當かも知れぬ彼の混亂せる歐州の現下の戰局に對しては如何とも手の出しやうがないのである、併し米國の平和團は間がな隙がな平和運動の鼓吹に努めて熄まず

◇斯くて平和克復の徹底 ◇的く交戰國民の與論に 訴へて居る、劍を以て戰線に立つて居る者の裡にも何千何萬となく同義者が居る國家の爲には死をも厭はぬ兵士も平和を俟つ心は一つである歐洲に於ける新聞に雜誌に評論に依て唱導さるゝ平和運動が必ず遠からず効を奏することと思ふ日米の關係に就ては來朝以來度々發問される問題である、予は何時も共摂合に斯く答へて居る、日本と米國とは

□太平洋を挾で相對し種々なる點に於て相似寄つた所が多い例へば自由を愛すること、人道を重ずること等は手近い一例で[redacted]故に米國大部分の者は日米の[redacted]係が今後益親善を加へ來らんことを望み又當然親交を結ぶ可きものだと信ぜられて居る然るに一部の地方就中加州の如き地方に於て排日の聲を耳にするは寔に遺憾とする所であるが日本人が是を以て直に『米國の排日熱』と大きな標題の下に見らるゝは更に一層痛嘆に耐へぬ

◇是等は米國の內情 ◇を知らざるに基因 するもので米國の行政が各州分立であつて必ずしも中央政府の意見が地の州に用ゐらるゝものでないと云ふことを知られない結果かとも思ふ最近にはフイリツピン獨立問題に就て米國或州會議員の如きは日本が横取りの野心を有し居れりなど、稱し日頃の排日主義に色を著けんとする所謂場當りな大向ふの喝采を博せんとする

□一部野心家の説か 或は之れを政爭の具に供せんとする輩の漫言妄語に過ぎぬ米國に於ける大部の國民少くともボストン、首府紐育等の大都市の中流以上の人士は日米の親和を希望して止ぬ日本には前後四回來遊したが朝鮮は十六年前浦鹽に渡航の際釜山、元山等の港頭を船上より瞥見したに過ぎぬ、故に只其際の記憶として殘せる一漁村としての釜山や元山を遺して居たのであるが今回釜山に上陸して

◇海陸の連絡の完備せる ◇市街の殷賑なる 一として目を驚かさぬものはない京釜線の沿道にて窓外の景色を通覽するに山には點々植林の成績いと良好に里には耕地整然として開墾され日鮮の農民此間に耕耘して居る處は外目ながらも何んとも云へぬ嬉しさが胸を突いて浮んだ朝鮮が發達して來たと云はんよりも此處迄進歩せしために就て如何に日本人の努力を要したかと云ふことが想はれる予は朝鮮に來着して

□未だ短時間の觀察 ではあるが日本人の努力に對して敬慕の念禁ずる能はず只今朝鮮觀察記の一端を綴り予の主幹する『エンデボル、ウオールド』雜誌社へ原稿を送つた處である、米國では朝鮮のことを隱君子國と云つて居るが今日は歐亞連絡の世界の公道となり交通日に月に開け行きつゝあれば將來の朝鮮は世界注視の巷となるであらう

●温かい手を握つて

ハリス博士の出發

明治七年以來日本に渡來して日本人以上に日本を理解し日本を愛したハリス博士は此の十二三年來朝鮮の各教會學校をも監督して居たが這回

▲郷里米國へ歸 る事となつた、博士は十七日の午前八時三十分南大門驛發の列車で東京に向つたのであるが何と云つても交友廣き博士のことであるからプラツトフオームは

▲見送りの人々 で大混雜を極めたのであつた、博士が待合室の喫茶店に立つて居ると其處へ夥多の鮮人信徒が挨拶に來た、一人の老人は博士の懷しい眸を見詰め温かい手を

▲堅く握り締めつゝ『またお目にかゝれるか何うか解りません願くば神の御國で逢ひませう』と云つた、其間發車の時間が迫つて瘦軀

▲鶴の如き博士 の姿がプラツトフオームに現れると見送りの人々は何れも懷かしさうな眼眸を以て博士の周圍を取り繞むだ、美しいボンネツトの婦人が白い手を差し出す

▲可愛らしい金髮 の小供が膝に取りすがる、米國總領事及び外人宣教師が固い握手を交す裡にまた

▲軍服姿嚴しい 立花中將や總督府の制服つけし宇佐美長官、渡邊高等法院長、國屋局長、金谷府尹なども握手を交した、猶ほ德富監督山縣五十雄氏阿部本社長等とも懇ろな挨拶が交された、博士は一々『有難うございます』と

▲叮嚀にお禮を 云つた、その他羽織袴の人や丸髷の奧樣など夥しい人々が懷かしさうに博士を見送つた、斯くて愈南行の列車が動き出すと共に美しい群集の一團からは一齊に

▲讃美歌の波が 起つた『ゴツド、ビ、ウイズ、ユー、チル、ウキ、ミート、エゲーン!』博士のやさしい顏はいつ迄も〱プラツトフオームの方を振向いてゐた因に博士は

▲來年の今時分 また日本に來る筈で『私の好きな鎌倉に家を有ち度々朝鮮にも參ります』と優しい顏に笑を湛へて言つた

ハリス博士出發 南大門驛にて

●鐵道情死 ―若き男女―

―釜山鎭驛にて―

十六日朝京城發同午後七時釜山驛着の急行列車が將に釜山鎭驛に著せんとする午後六時四十分頃汽罐車の前に手を引連ねて飛込みたる男女あり運轉手は直ちに停車の手配を爲せしも惜しいかな力は遂に兩人を車下に引き込み

男は頭部を女は頭部及び四肢を分碎され見るも無慘の即死を遂げたり附近の路傍に右兩人の遺留品あり兩人の所持品は下駄、婦人持手提袋、金側懷中時計、金の指環及び金一圓四十錢在中の財布と大邱下關間往復三等乘車券二枚にて別に遺書とも見るべき紙片あり『小生不在の時妻の處に打電ありたし(山口縣小郡田中源二)』と記されあり取調の末兩人は原籍山口縣小郡町現住慶尙北道善山郡龜尾田中源一(三)同人妻ため(二)の兩人と判明したれども原因其他知る由なく無論覺悟の情死ならん(釜山特電)

●世を厭つて自殺

十三日午前九時頃京畿道揚州郡別內面退溪院里路傍川堤の松の樹に縊死者あるを里民が發見し急報に依り所轄憲兵隊より係員出張檢視せしが縊死者は同里の吳永吾(六三)と判明し麻繩を掛けて絕命し居れるが昨年四月長女死亡後世を悲觀しゐたりと言へば多分其れが爲め覺悟の死を遂げしものならんと屍體は養子崔長成が引取れり

●五人組の強盜

朝鮮式の庖丁を示して金品を强奪す

十七日午前二時半頃京畿道高陽郡漢芝面貫里十九番地資産家鄭某方へ五名の强盜闖入し朝鮮式の庖丁を以て家人を脅迫し時計其他金品略百五六十圓のものを强奪し逃走せり高陽警察署に於ては目下嚴密に捜索中なりと(不穩電話)

●クラーク博士講演

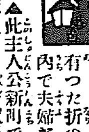
十七日(金曜)午後八時より南米倉町京城基督教會(度支部長官邸下)に於てクラーク博士の講演あり演題は『世界に於ける青年の公友』なりと

●浩々歌客逝く

東京日々新聞社學藝部長浩々歌客角田勘一郎氏は本月初めより病を得自宅にて療養中の所十六日午後四時三十分逝去せり享年四十六歲(東京特電)

●草梁の朝火事

草梁本通町鐵道機關庫事務室を隔てし山手家屋より十七日午前十時廿分出火同十一時廿分鎭火せり原因損害の程度取調中(釜山特電)



▲話は少し持ち越したが此間若草町に大火の有つた折の事類燒者の內で夫婦ぎりの家庭が有つた▲此主人公新聞で夜を更かす其都度細君との間に喧嘩の火の手を擧げて居た▲處が時も時とて大火の晚も主人公例に依つて留守を決め込んで自分の家の全燒けに爲るのを夢にも知らず▲此れは少し時間が過ぎたと車を急がせて歸つて見ると自宅附近は一面の火の海▲コレはと驚いて開いた口も塞がらずウロ〱して居ると矢庭に飛掛つて喉笛を取つ締めた者が有る▲非常に驚いていくら火事場泥棒の流行る京城だつて全燒けに爲つた上に火事場で强盜に遭つちや大變だと一生懸命になつて組付いて來る奴を押へ付けてよく見ると自分の女房▲何んだお前は人違ひでもしたのか乃公だ〱と云ふと乃公も糞も有るものか家は全燒けに爲つて終つた▲お前さんと云ふ人はナアと女房は急に大聲擧げて泣きながら獅噛付いてどうしても放さず咬む引搔くと云ふ騷ぎ▲亭主も終ひには火事の事も忘れて防禦戰に一生懸命火事は消防隊の力で漸く消し止めたが喧嘩の火の手は容易に鎭まらなかつたさうだ

合併相撲評

△堂々と闘つた東西力士

大錦横綱問題何うなるか

本社の合併大相撲特派員の電報によると三日目大阪方の大敗に土地贔負の好角家連は東京方に反抗心を抱いて續々詰めかけるといふ、これは全く然うだらう、初日に於いてはその星數に於いて多少

▲東西勝負の權衡 が取れたけれども二日目は散々に星を取られてゐる氣の毒な位ゐ負がこんでゐる土地贔負の好角家が躍起となるのは決して無理ではない、殊に四日目五日目の如きは何といふ體裁だらう、堂々たる大關連が揃ひも揃つて土俵に埋められてゐる、しかもそれが東軍の精鋭ではあるが前頭以下の端武者に首を掻かれてゐる、又その負け方たるや

▲必死の力を用ゐ 堂々と鬪かひながら遂に負けてゐる、三日目加古川の大蛇の素首落しに敗れたる小染川が大鳴門の鐵砲を受け切れずして左右何れに差も得せず押倒されたる或は四日目に於て西軍唯一の豪勇と稱せらるゝ大錦が東軍の小冠者浦のために

▲其得意の吊りに 堪へ切れず殘しもせずに土俵を割りたる、小染が黒瀬の左に入りながら小手投げを打たれて土俵に這ひたる、松の音が九州山に押切られたる、一々擧げ來れば大關の眞價は何處にあると聞きたくなる、とは言ふものゝ今回の合併相撲は大阪方は必死の覺悟を以て土俵に臨んでゐるのは勿論の事

▲三役より幕下に 至るまで猛將猛卒を敵に廻して敢て騷がず往年の如き徒らに奇捷を占めん事に齷齪して唾棄すべき立合ひの法を用ふるが如き事なく正々堂々と鬪かつてゐるのは何より慶ぶべき現象である、且つ東京方にあつては御大太刀の部下に對して激勵するあり、忌はしき八百長相撲の未だ行はれぬは

▲好角家連の滿足 する所であらうと思ふ、全體に於ける東西力士の相撲振りを見るに東京方は最初から可なり調子を落してかゝつてゐる、これに反して大阪方は決死の勢ひで當るから東京力士にしては思はぬ敗を取り不覺な角力を取る事がある宇都宮の如き源氏山の如き對馬洋の如きそれだ、その他前頭どころの雜輩にこれが著しい樣だ

▲大物に對しては 普通の調子を出すが同じ位の相撲だと幾分力を拔いてかゝる、これは大に戒しむべき事だと思ふ、それにつけても大阪方はその實力に大分の差があるが氣の毒だ、大錦も五日目以後が荷が重いのに四日の相撲に黒星を二つも戴いては横綱問題も難かしい事になる、今から更に緊褌一番しなければなるまい

●仕切書を僞造す 神奈川縣…め關税を騙取せんとせし事發覺し…の四組を返擲中過つて重量約九十貫…山南浦町二丁目生魚商坪內東方に…

●百九十圓の横領 京城貴…額消費したること發覺し吉本は鍾路…

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三 三月十四日より新派悲劇 ○新派悲劇 ぬれ衣 ○喜劇 天覧競馬の入院 ○軍事大活劇 …戰 女夜叉 …

壽町 壽館 電話一〇五〇 浪花小圓治北海入道一行合同浪花節 義士傳(桃中軒雲升)明鏡騷動(吉川幸雲)義士傳(東小入道)義士外傳(北海入道)阿部豐後之守(桃松軒巴)四ツ谷怪談(浪花小圓治)

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七 三月十四日より …六下一品大活劇 地中の叫 …

本町 壽座 電話五七八 新派自然劇團三輪一行 いよ〱十七日初日 ◎魔の女 全七場 …

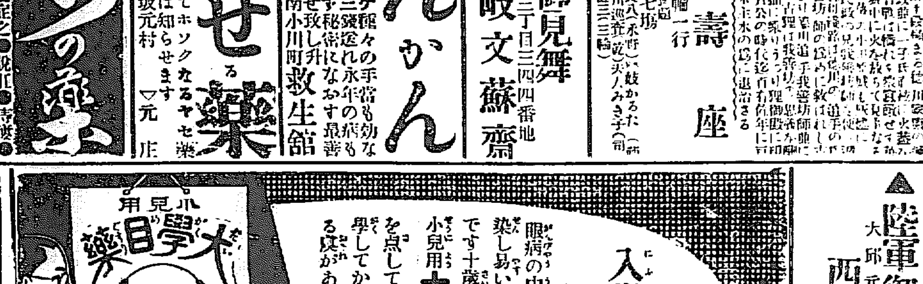
謝近火御見舞 京城黄金町三丁目三四四番地 土岐文蘇齋

てんかん 病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の方切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥をお知らせ致し升 名古屋市中區南小川町 救生館

男女 やせ藥 少しも害なくしてホツクなるやせ藥を切手二錢送れば知らせます 播州加古郡坂元村 元庄

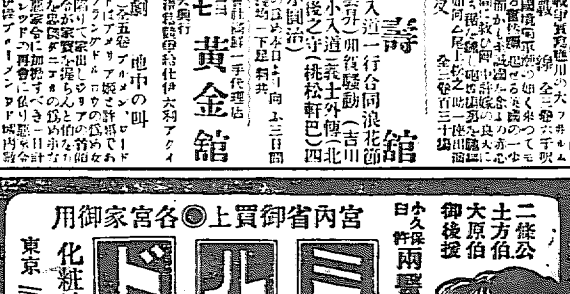
家傳靈藥 ぢの藥 ●痔疾一切●大重症之●脱肛●痔瘻●等現狀の儘で申込あれば病原治癒する家傳妙藥有「ハカキ」理由自宅治療法の書冊進呈す ●東京京橋區疊町 小松盛林堂 御買求の際は小松ぢの藥と指命を乞ふ

消毒全乳 牛乳券 朝夕二回配達は迅速 大邱種畜場北 花田牧場 電話五五八番



純粹培養 模範 牛乳 ヨーグルト 太正採肥醫獸場 東亞牧場 京城蓬萊町四 電話五二番

陸軍御用達 大邱元町 西田牛肉店 電話一二〇番



胃病新藥 マーゲン 特約店 京城南大門通三 新井

……西川義太郎に……（百二十二圓）の買入れを依賴し之れ（正）は三月八日午後二時半頃工場構內……にて列車用の車輪二箇を連結せるも……才頭（二八）は大正三年十一月頃より釜山……懲役六箇月の判決となりたり

春を訪れて

漢陽公園より

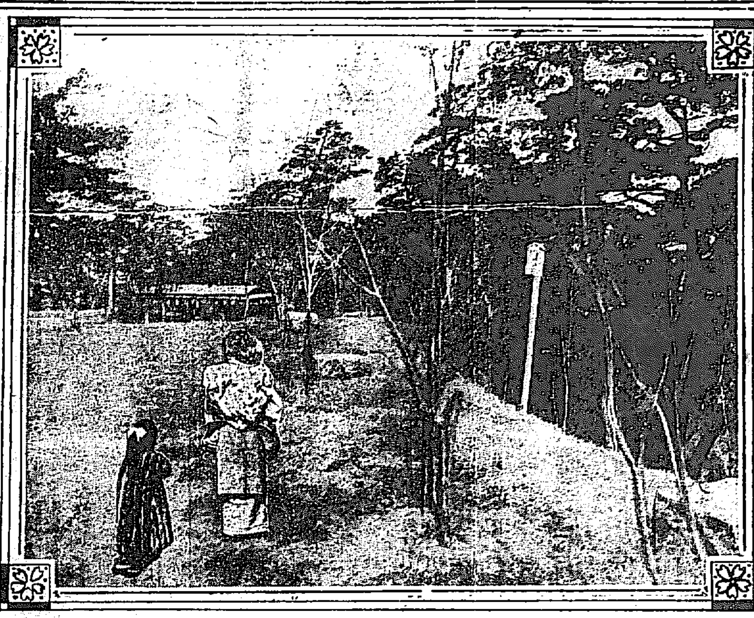
待つ春の人＝胸を喚られて＝山躑躅の蕾も＝口疾い駒鳥の歌＝柔かい風に吹送られて

漢陽公園の春はつい隣りながら南山よりも更に早い。南を受けた春の日に一日向つて居る

＝**頂上の廣場** などはモウ如何にも春らしく爲つた廟の傍には急拵への茶見世が四つ五つ建つた古い茶見世でも障子を張替へるや屋根の繕ひをするやらの忙しさうである櫻の蕾も麥粒ほどに大きくなつて松の下の茶屋から若い女が

＝**時々赤い顔** を出しては春と人とを待遠しさうに眺めて居る茶屋の軒端には茶の地に白く抜いた暖簾に福助だの花奴勝次光衛などと云ふ名前が綴るやかに暖かい風に吹かれて居る龍山の方は漢江の水の上から城壁の下まで薄つすらとした

＝**霞が一面に** 掩つ覆さつて松山の裾には長閑さうに臥て居る牛や其處から續いた林が畑の如うに見えるのが花でも眺める樣に漾と云ふ感じを與へる一體春は酣に花爛漫の頃よりも僅かに枯野の中から生々とした青い芽を見出し得た時の方が如何にも嬉しく



そゞろ歩き（漢陽公園にて）

＝**春の樂しさ** に涙ぐまれる程に胸を喚らるるものである旭町の方から上つて來る三人連れの若い女の一人が素足なのも春らしくて嬉しい青々とした草はその白い足の下からその桃色の爪先から

＝**萋々と萌え** 出すのであらう『えゝあの晩ね、大變晩かつたので姿さらくお母樣に叱られたのよそれでもねみねちやんのお別れなんだもの』と素見なのがあたりに人の居らぬと思つてか高い聲である『そうよ、あれきり一生逢れないのだものね』『お國にモウ落いたでせうか』『若いたつてドウセつまらんでせうよ、知りもしない人の處へお嫁さんだつて……』と後の方からセツく登つて來た

＝**人の氣配に** 話にばつたり止んだ駒鳥が代つて春の眞盛の歌を口疾く歌ひ始めた山躑躅の蕾も咲きさうにして居る南山に移る處のベンチで五十ばかりの女が子供を負ふたまゝで居眠りをして居るベンチの周圍には蓬の芽が萌えて居る下の方の松林の間から

＝**石を切る音** 眠さうに聞えて來る更に引還すと春を待つ人達がグランドの芝の上に幾組も一團まつて居る『春は龍山の方から來るやうですねエ』と話して居る人が有つた成程、さうかも知れぬ日向りの好い龍山の方は

＝**一面に紫色** がかつた靄を帶びて來た春は高きに登つて見るが好い柔らかい風に吹き送られ吹き送られて來る霞が一日一日に濃く（なつて野と山とがそれと正比例に青味を帶びて來る春は酣の花時よりも枯野の中に見出した時更に強く我等の胸を喚る魅力を持つて居る

●直江津丸無事浮き上る

過般慶尙南道竹島燈臺海岸にて擱座したる直江津丸引揚げのため神戸海上門司支店より救助船大島丸來航し作業中なりしが其の結果直江津丸は無事浮揚りたる由にて近日中に一旦木浦へ入港すべしと（木浦特電）

四日目の殊勳力士

小結二瀬川に勝つた　黒瀬川

加古川を敗つた　兩國

大錦を倒した　浦の濱

櫻の音を屠めた　九州山

越後大評定

第百六十二席　早川貞水口演

越後家再調

此のとき備中守正俊、威猛高に相成り『正〻控へろ忠術、神君家康公參州より起り給ひ、三尺の劔を揮はれしより難戰二十三度、小戰擧げて數へ難く就中三尺の房の合印に血潮の濺りたること七八度と承はる、斯くして元和元年四月大阪落城以來、天下一統して土下命を奉ずるに至りたるを以て漸く茲に御安心遊ばし、長く德川の流れの絕えざらんがため、尾紀水の御三家を御立て置きに相成りたるものなり、然るに此の御三家を差措いて、京地より御嗣君を迎へなば茲に德川の御血統は絕えるものなり、其邊の辨へもなく、言を不吉なる天下の亂世に藉り、濫りに他家を迎へんとするもの、是れ德川家横領の下心にあらずして何ぞや』言はれた時に流石の酒井大老、何と言ひ分けの術もなく差俯向いて言葉なし、此時御廉の內より『御立座アー』と觸かゝると、直ぐに將軍家御病床へ御引取と相成、次で一同も席を立ちましたが、大老酒井雅樂頭獨り茫然として立兼ねて居ると、御目付衆一同立上り『御立ち召され』と追拂ふ之を殿中の追立と申します、昨日までも今日までも飛ぶ鳥を落し旭の昇る勢ひであつた大老酒井雅樂頭も、今は溜鼠の逃げるが如く悄然として退出する、そこで改めて大目付細川壹岐守を以て、不審の廉々尋問に及ぶ、雅樂頭遂に申開き立たずして、染井の御屋敷に於て御腹を召されました、次で舘林右馬頭綱吉公、德川五代將軍に成らせられ、重役更代と相成、

大老には堀田備中守改め筑前守正俊、老中には大久保加賀守、秋元但馬守、小笠原若狹守此度越後家再調役仰せ付けらるべき阿部豐後守正武と代りました、愈よ元和元年五月二十一日越後家再調べと相成り、殿中松の間正面には德川五代將軍綱吉公、その御後には金田遠江守、牧野備後守、一段低き御前には大老堀田筑前守はじめ各老中、新役御老中越後家再調掛り阿部豐後守、御目付細川壹岐守坂本右衛門佐、御縁側下には越後家の家老國勝手在勤小栗美作、差添人また右の方には永見大內藏並に荻田主馬、是は毛利家へ御預け中でありますが、此の度御呼出しになつたのであります、然れば毛利家々來兩人差添へ、孰れも著座に及びますると目付役御手洗五郎兵衛席を進み、阿部豐後守の前へ兩手を支き『五『御始めなされて宜しう御坐います』豐後守將軍家へ御禮を申上げ大老々中の方々へ會釋を致し、席を進み『豐『御手洗五郎兵衛、永見大藏より差し出したる願書それにて讀上げへ』そこで美作の不審十一ケ條を讀上げる、是れが終りますると豐後守美作に向ひ『豐『松平越後守年寄役小栗美作、汝先年稻葉美濃守殿掛りにて一旦調べ濟みに相成りたるも、今般將軍家御代換はり、御不審の件これ有るに付、再調仰せ出されたり、不審の件々、それにて一々答へよ』美作恐れ入つて頭を上げ『美『御の通り先年稻葉美濃守殿御掛りにて、善惡邪正は既に御吟味濟みに相成りたるに、今般將軍家御代換りとなつて、再御調べの儀、甚だ迷惑に存じます、殊に御掛りは誰あらう御若年の阿部豐後守樣、御苦勞千萬に存じまする、御先代豐後守樣には美作折々御目通り致し御懇命も頂戴いたしましたが其の御子樣たる當代豐後守樣より再調を受けますこと、有難く存じまする』如何にも上を愚弄したる大膽なる挨拶振り。

●金庫を破壊す

福岡縣門司市明治町三丁目生れ當時龍山元町二丁目居靴工田中德造（三二）は本年二月四日夜元町二丁目池田某方に忍び入り現金二十圓金指輪一個二百圓の預金通帳等在中の金庫一箇を窃取し之を附近の山中にて破壞し同夜現金は桃山遊廓にて全部消費せし事發覺し元町派遣所の手に檢擧され京城地方法院にて懲役四箇月の判決

◎靴泥棒取押へらる

鹿兒島縣川邊郡東南方村生れ當時京城南大門通五丁目松田某方居中島榮助（三五）は窃盜前科二犯の曲者なるが三月一日午後七時頃黃金町二丁目日清生命保險會社出張所長宅に於て靴一足（七圓）を窃取し之を太平通二丁目の宿屋業廣鎖元に一圓四十錢に賣り飛ばしたる事露顯し本町署の手に檢擧さる

◎三浦朝鮮民報顧問

大邱朝鮮民報顧問として同地言論界に覇を唱へ居りし芳洲三浦庄一郎氏は病氣にて鐵道醫院にて加療中病革まり十六日朝逝去せり享年五十一　大邱民團史を編纂して名あり

◎正誤

十二日朝刊所載の京城有志婦人幹旋に係る白耳義窮民救濟資金の寄附金五百圓は第二回の寄附と記せしも實は第一回の誤につき正誤す

お聞きなさい

▲二千年の借地契約　東京麹町區三年町に在る白耳義公使館の地所は世にも稀なる大まかな借地契約が出來て居るので書換の手數が要らぬその譯は斯うだ元來此の土地の持主は故大久保利通公の長男で大久保家の總本家利和侯の所有地であつて此の利和侯と白耳義公使で今は故人となつたダネタン男爵との間に驚く勿れ二千年と云ふ減法な借地契約が出來て居る時は明治三十五年前公使が日本は尙ほ外國人の土地所有權を許して居らぬが將來土地の所有を許さるゝ事もあらば其時になつてあわてるのは愚だ一層今から永代借地をして置くに限ると大久保侯の許に申込だのを侯は快く之を承諾して百年や二百年などゝ云ふのはケチ臭いから差當り二千年の契約をして置かうと云ふ事になり二千年間の借地料八萬圓と定つた之が來るべき四月の十五日で滿十四箇年を經過し未だ殘つた年數は實に一千九百八十六年といふ長い年月である今や春漸く訪づれて廣大な庭の木々には新芽が吹く此の土地の坪數は二千九百坪、時價は坪七十圓位で合計約二十萬圓前後のものである

▲五十哩に亙る旋風　大阪商船會社の汽船シャトル丸は去月十八日横濱を出帆してから前後二回の大風浪に遭遇して横濱著の前一日午前一時頃からその範圍が五十哩に亙る程の大旋風に出遭ひ甲板の上の物品は大概浪に浚はれ非常な危險を冒して漸く著港した相である

シンガポール産　美人印　白馬印　パインアップル（著荷新）　釜山　ビワコ屋

三月十九日九星　舊二月十六日乙卯　本命四綠　諸譜大安。

▲四綠● 輕佻の事有日　落付て新事見合北方は吉の方吉　萬事長談は妨なし▲六白● 一寸一ぱい喧嘩鬪戰▲五黄● 一幸一難の日なれども　新事控目はんとす　新事手控務事は吉買物に用心せらるべし▲七赤● 氣まづき事有日　新事手控發事は吉女子は行儀を守らるべし▲八白● 差引のたらぬ事有日　新事手控務事は吉保證紹介等せぬがよし▲九紫● 大願叶日轉居開業入學名弘求職棟上婚禮試驗を受る等皆吉　物に勝の日▲一白● 意氣揚々の日　轉居行商入學金件家作求職縁組學校病院を開く等萬吉▲二黒● 他のせわ事にて迷惑せんとす注意　新事手控希の事は吉▲三碧● 好運の日轉居入門出遊求職金件探脚籍證電氣利用業等皆吉

商況

債券現物特電　東京　十七日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	五二、五〇〇
日韓瓦斯	一四九、〇〇〇
朝鮮銀行	一一四、五〇〇
朝鮮瓦斯	一四四、〇〇〇
南滿鐵道	[illegible]

公債直取引　東京特電　十七日出來値段（前日との比較）

五分利特別	九五、三〇
五分利	[illegible]
四分利	八二、八〇
一回四分	八二、〇〇
二回四分	九五、〇〇
甲號五分	[illegible]

深川在米特電　十七日中在高

朝鮮米	一四一、三五七
內地米	一一二、八五七
外國米	二、〇五〇八

東京期米特電　十七日前場　五月限

寄付	一三、四一
高値	一三、四四
安値	一三、四一
止め	一三、四四

大阪株式特電　十六日後場

銘柄	前場	後場
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電　十七日前場

限月	寄付	大引
三月限	一二九、〇〇	一二九、八〇
四月限	一二九、五〇	一二九、九〇
五月限	一三〇、九〇	一三〇、三〇
六月限	一三〇、三〇	一三〇、七〇
七月限	一三三、九〇	一三三、九〇
八月限	一三三、二〇	一三三、二〇

大阪期米特電　十七日前場

當限寄付	一三、三五
中限寄付	一三、五三
先限寄付	一三、七九

朝鮮物產特電

品名	相場	品名	相場
馬山改玄	三、三〇	鏡山大豆	[illegible]
群山改玄	三、〇〇	慶山大豆	[illegible]
木浦改玄	二、九〇	浦項大豆	[illegible]
同撰改玄	三、三〇	元山別大	[illegible]
群山特改	三、三〇	城津大豆	[illegible]
同撰改玄	二、八〇	雄基大豆	[illegible]
仁川改玄	二、八〇	長淵大粒	[illegible]
南浦改玄	二、八〇	黃州大豆	[illegible]
釜山上白	[illegible]	仁川小粒	[illegible]
釜山中白	[illegible]	宜川大豆	[illegible]
釜山撰白	[illegible]	平壤大豆	[illegible]
仁川上白	[illegible]	群山大上	[illegible]
仁川中白	[illegible]	木浦大豆	[illegible]
仁川撰白	[illegible]		

雜報

●株式更に上進　前昨以來引續いて上伸歩調にて船株及び東新大株は殊に勢ひを得つゝあるものゝ如し　前場は東新大株共に三十圓

●諸株之に好調を呈せり　過日來より拔きに連れ遺されたる銘柄に高値の買玉掃除せられたるもあり何か特種の惡材料の發生せざる限り

眼先尙漸進歩調を繼續すべき形勢なり

●工業藥品沈靜　久しく狂騰に狂騰を重ねたる本藥品類も一年中の霜枯時に相當し居ると餘りの高値なる爲一般需要者の手控へとなりたるより市場は漸く沈靜に傾きて不味の商情を現はすに至りたり而して曹粉及膠等の一部を除くの他は凡リスリンは

●**增加** 十錢方の押したる結果最近二圓五十錢方の押しを見せ又一時輸出旺盛なりし爲め亦臨を直れたる硫酸も茲輸出一段落を告げたるより從つて相場又一押しを初めたり

●**麻類頗る氣丈**　支那麻は輸來本國市場は產地在荷過半出

●**牛皮は高投ぐれ**　牛皮は依然鮮商側の氣走り居れるに反し大阪筋は益々落付模樣にて此處相場は續いて六十一二圓を辛らくも持せるに過ぎず何分當地は盛きに大阪の三圓高に對し約五圓內外も相場な鈍上げし爲にて今日に及べるより移出筋は相變らず買附困難の模樣なり昨今の處之等手筋は乾物の良好なる格好品を撰びて弗々買積めつゝある位なるが朝鮮皮革會社の方も最近

支那皮約二萬枚の輸入　ありし由にて且之に手持の原皮を合すれば同社使用の一箇年分は之を以て優に二三ケ月間を支へ得べきより之又差扣つて買進まず從つて鮮商側の持品として昨今の如き吸先大阪より買上ものは

多げき來るか鮮商側より折合來らざれば到底活潑なる取引は望まれ難しと難元來が出廻り時期は例年現るべき正月皮さへ本年は殆ど其姿を見ざるにて

鮮商側は在荷拂底といふも左程に意外の感も起さしむ

下關相場

▲朝鮮白米は不引立　其後寄商は七十叺の廻着に過ぎざるのみならず前日來期米の盛況に連れ產地よりは二三十錢高を傳ふるに至りたる爲め前日から安くは手放し難き風情なるも何分買氣弁はずして見り賣れ行きの鈍情なる爲め市況引立たず出來值は左の通りなる眞の小口手合せのみ　▲大豆は弱保合　本品は其後元山物百叺の廻着に過ぎざるのみならず產地も依然安からぬに連れ各荷主の安くは手放さず自然品落を見るに至らず然れども何分品物の寄しく不勢にある折柄とて自然買人の商値は望まざるに依り可也の賣れ行きありしも兎角市況面白からず　▲小豆は依然狂はず　產地の人氣には連れ各手持筋は氣强くて居るも何分見るべき注文入り來らず兎角賣行きの鈍情なる爲め矢張り氣勢なく其後の輸入は北海產百三十叺也

品名	相場
△朝鮮一等白米當用	十三圓四十錢
△同二等白米當用	十三圓六十錢
△同	十三圓十五錢
△元山大豆並上	九圓八十錢
△端川淸育大豆	九圓八十錢
△太田大豆	九圓五十錢
△フリッポ大豆	九圓七十錢
△淸洞大豆	九圓六十錢
△慶山大豆	九圓六十錢
△鳥致院大豆	九圓六十錢
△深川大豆	九圓七十錢

●燐寸協定引下げ

燐寸は不景氣同業者間へ伴ふより漸次持品の投げ崩しを見んとするの傾向を生ずるやに付き同業有力筋相寄りて市價の維持に付き左の如く遂に協定値段の成立を見るに至りしが他に付ては之れに加入せざる小口手筋も少からざる由

退き一方なるとの投に於て其後の寄付は之れに加盟して共に十圓より值下げの規定を見るに至りしが……

更に五圓方引下げ　一方ならず漸く折合ひ新規契約も少からざる……

四十五圓の協定を爲せりといふ

◎金巾植崩し

綿布入荷は更に昨日二錢五厘安を報じ之れに前日來人氣に響くも金巾は二十錢方の下落を見て……

粗布細布等も是に從ひ……

投物續出し卸人間に於ては……

會社値段の下を潜る事三四圓乃至五六圓となり市況は亂調を呈しつゝあり

●騰勢の小締まりにて

……內地產は昨年作付反別の減少と收穫額減少の結果頓日の減少と收穫額の減少を見せ……

一割餘の昇騰

各地商況

◎釜山（十六日の穀物）▲正米（十錢高）本邦期米十日寄付は又々反撥を演ぜし爲め米主側も一寸強氣を含み賣り惜りの狀態なれども何樣移出口には依然採算上不引合の折柄買望みなく買人は相變らず籾米口のみなれども期米高に連れ買人の呼び値に引付けられたる商狀にて底堅く相場は十錢高となりたれども買人も亦り掛々數取引もなく只必需品のみの買入れなり而して出來高は一千俵位なり▲大豆　依然出廻り品少なく掛々數取引もなく保合なり

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　三巴仲買店　電話長（二二〇）（三一）（二二七三九）

京城正米

朝來賣物薄にて買人の態度又々強硬なり午前中に於ては格別相場も引締まる迄に至らざりしも買人の買値に比て賣物なかりし爲め如何にも小締まりとなりたれば今日の相場は……

京城雜穀

各種共に氣配總じて持合ひなるが其內只小豆のみは寄せに連れ多少人氣を引直し今日にては安値より約二三十錢方引戾しの九圓五十錢處の唱へなり

南大門の廻穀

品名	數量	品名	數量
西井里白	三〇叺	金村白米	一七叺
大安大麥	五〇叺	水原白米	二〇一叺
水原白米	四〇叺		

仁川現物市場

▲穀入荷なし　正米の好況に連れ高人氣……正米入荷三百餘叺……千石より五十錢等にて各銘柄米所へ……▲大豆入荷なし　水原大豆六圓七十錢氣配保合

仁川期米

十七日前場　▲大阪前日……三月七十九錢　直に九錢と上伸したるも押し日は賣物多く五十錢さと跳れ四十八錢と押したるが買物に至り多く遂に

一錢安の入電　先當地中十圓四十七錢さ一錢高に寄付

上伸し五十三錢と

十七日前場　中限……

前場活躍す　大阪……入電に十圓四十七錢と寄付直に九錢と跳ね……

物多く新規に買……

市場零聞

吉　行賀仲買店　仁川本町　電話長（九三）（二〇）

▲前場の手振り　……千石……

▲前場上伸す　大阪……雷同賣多く……

▲今筋賣る　……

▲巳筋買進む　……

▲◎〇り大商內　……

▲司筋の買　……

▲中限解合　……

▲鞘の乘り替へ約束　……身代り先限に買ひ同……

▲形勢一變の徵　……向かん提灯連は遂に崩……尙一歩上……

仁川米豆取引所

十七日の五月限

前場	寄付	一節	二節	三節	四節	五節
高	十圓四十七錢	十圓四十二錢	十圓五十三錢	十圓五十一錢	十圓四十五錢	十圓四十七錢

賣買取組高　三月限 一萬石　四月限 五千石　五月限 五萬四千三百五十石

前日と比較　出來值 ……

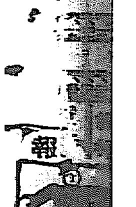
十六日後場　一〇四二、一〇四七、一〇四六、一〇四三

▲中白米檢查　……今回京城酒造組合第一號を以て本道米穀檢査規程……中白米も追加……

更に中白米も追加し來る二十一日より施行

▲値頭本位と期米　……

田中商會　電話長一五二二番

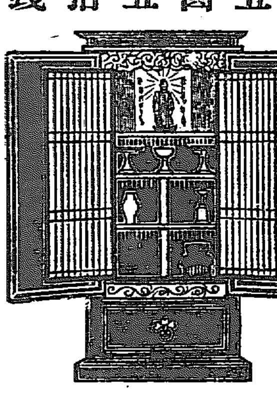


汽車

祝三千號記念

御本尊及道具一式付
一等品　金貳拾圓（純金箔保證）
同　二等品　金拾圓（同上）

御本尊及道具一式付
下圖三等品（人造金）
金五圓五拾錢



長サ一尺四寸
巾七寸

▼總て荷造共●運賃別●送金次第發荷の事

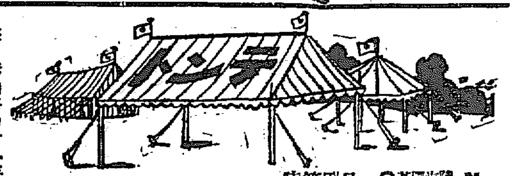
大阪心齋橋筋博勞町南へ入
金佛檀 金屏風 小道具 商
中井合名會社

●◎新學期來る◎●
文房具の大需要期は參り候
文房具の御仕入は中間業者として最も誠實に御便宜を計り上げ居る
文房具事務用學用各種卸商
ライオン鉛筆發賣元
チャンピオンインキ關西發賣元
スワン萬年ペン大特約店
大阪平野町二丁目
福井商店へ
御申付被下度願上候

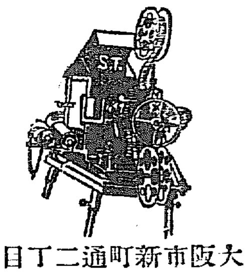
登錄商標
向馬印
半田錫各種
電氣用、松脂入錫蠟
ソールド錫、線管松脂入錫蠟、諸罐詰用
大線板各用各種類
弊所製品に限り責任を以て販賣仕候
バビットメタル
拾貳種
輸入防過
製造販賣元
大阪市南區南桃谷町五十二番屋敷
成川製造所
電話園南一三六三番
振替大阪二六二三番

茶
大阪順慶町通四丁目
茶卸問屋
㊤富貴園茶舖
電話南二二六八番
振替口座大阪一九二一番

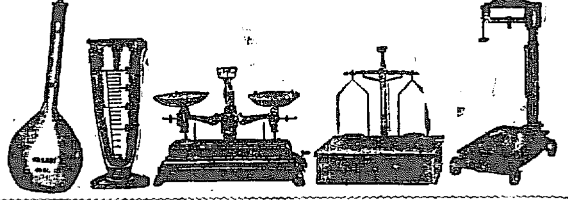
營業課目
テント名稱
陸海軍用 旅行用 海水浴用 漁業用 園遊會用 鑛山用 茶店製造用 建築用
○テント貸も可仕候
日覆、雨覆、鐵道貨車、荷車用、水器、箱類、陸海軍用
追々テント必要の時季に相成候處弊店は多年各種テント製造業に從事し簡便新式の形狀堅牢なる品質と低廉なる價格とを以て名聲を博し居れり夙にテント界の急務を唱へテント界の先鋒たる使命を果さんが爲め益々奮勵努力仕候に付何卒多少に不拘陸續御注文被仰付度奉願上候



製造發賣元
大阪市北區南安治川通二丁目
宮武テント商行本店
電話西四三四六番
振替口座大阪一七一五番
（定價表及設計見積書送呈）



活動寫眞器械
百圓以上各種
幻燈器械
各種
□常設館寫眞提供
□巡業隊出張フィルム貸附
□臨時出張映寫等相應候
□中形家庭用青年會用活動寫眞幻燈兼用器械卅圓以上同小形七圓寫眞附各種
映畫
教育　軍事　地理　滑稽　史劇　風俗
○衛生　○宗教　○科學　○農事　○風景
尚新畫出來
▼目錄表遞送す送料二錢　品目記入の事
大阪市新町通二丁目
寺田清四郎商店
電話西二四一三番 一四三三番　振替大阪一九三二番
寺田九州支店
博多中島町（電八七九番）

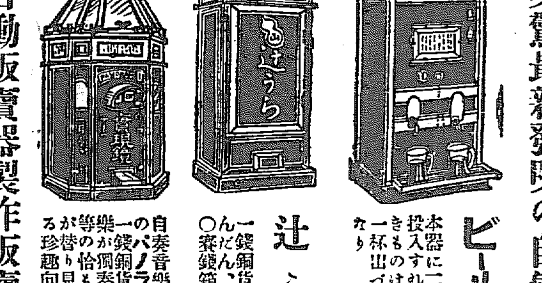


度量衡器
製作修覆
輸入販賣
◎天秤、分銅　上皿天秤
◎臺秤、上皿桿秤　木骨桿秤
◎身長計、卷尺　直尺、縮尺
◎化學用量品　玻璃桝、浸劑器
木桿　材料　皿鎖
尚ほ弊店の特製に係る木製桿秤の皿及鎖材料も至大の廉價を以て販賣可致候間何卒御需の程偏に希上候
大阪市北區南同心町二丁目（電車停留場東入）
合名會社 白井度量衡器製作所
電話長東二七四番振替大阪六六〇八番
弊社の製品は左記移入免許者に於て販賣せるに付最寄にて御買求を乞ふ
京城南大門通二丁目
同　本町四丁目
仁川本町四丁目
釜山辨天町
元山本町二丁目
大邱元町一丁目
平壤大和町
同南門通一丁目
木浦元領事館通
同　海岸通
鎭南浦新橋
群山全州通
全州本町
羅南初瀬通
京城壽町
新古北龜石町森大木大菅大神田稻森
井城島井田田田刀下西林島垣川
贊濟回川定
藥岱藥藥商辨藥藥藥藥
化生春藥次
房堂三館堂堂舖店助店舖舖舖郎

サ　內地向輸出向各種
直綿製蚊帳各種
蚊帳荷揃謹告
●弊店工場撰製仕立蚊帳は染色品質裁縫並に堅牢優美にして廉價なるは凡ての他品を優越す
蚊帳御買求の方は是非蝸牛印に御注意の上御試買あらん事を
大阪綿業株式會社製品特約店
蝸牛印製綿蚊帳發賣元
山本佐七商店
大阪市東區安土町三丁目
電話本局三千〇八十二番
振替口座大阪九九一五番
山佐製綿蚊帳工場
堺市住吉（電話三十五番）
◎山佐商報
毎月一回發行御入用の御方は弊店營業部へ御申越被下度候

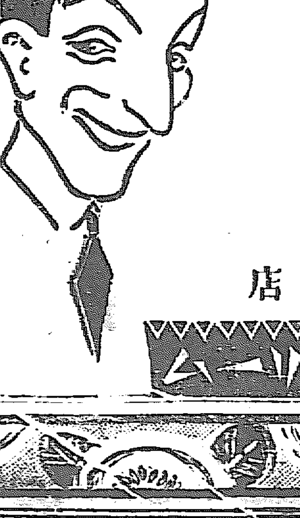
團扇
荒物雜雜問屋
大阪市天神橋筋一丁目
西垣重之助
電話東一八九七番
振替大阪二八一九番

各種自働販賣器製作販賣所
大阪西區九條通三丁目四七一
營業所電話西三九一七番
振替大阪一四五〇四番
中條商會
郵券二錢送れば目錄及定價表送呈す
勿驚最新發明の自働販賣器



ビール自働販賣器
本器に二錢五錢或は十錢の貨幣を投入すればビール又はサイダー等の如きものは泡沫を發しつゝコップに一杯出づると云ふ最新發明の器械なり
辻うら器
一錢銅貨を投入すればうんき、そんだん、待人の獨占が出ます○賽錢箱形外種々の器械あり
自奏音樂入のパノラマ自働實現鏡
一錢銅貨を投入すれば清妙なる音樂が獨奏しつゝ名所や美人や戰況等の恰も實物に等しき浮出し寫眞が替り見へ尚景品に辻うらが出づる珍趣向の製品

ベジリン香水
世界で有名なる毛髮肥料



大阪道修町
塚田商店
ユーモリンクリーム

京城日報 第三版

十八日朝刊(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢
廣告料
發行所 太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 谷口政太
電話 編輯用 長三四五番 營業用 長三六番 振替貯金口座京城三〇〇番

▲後場の手振り
▲吉例の大商內
十七日の五月限
三月限 一萬石 十圓五十六錢

蘇峯雜話 中島生記

四、ハリス先生を送る

十七日午前九時談話

只今ハリス先生の歸國を、南大門停車場に送りて來たところである。余の胸にも、腹にも、頭にも、今は唯だハリス先生が充ち滿ちて居る。今更先生の人格を詳釋がましく彼此するのは、人に向つて眞珠は貴といものである、黄金は寶であると、云ふのも同樣である。然しながら、余は先生の久しき友人として、先生が朝鮮に於ける、十二年間の獻身的盡瘁に對し、今や其の日鮮人の、先生を知る者も知らぬ者も、多くの人の祝福を、後に殘して去られんとするに際し、一言するを禁じ得ぬのである。

何人も、先生に初めて接したる者は、總て是れ一團の和氣であることを、感得せざるを得ぬのである。先生に對すれば、傲慢の者も謙遜になり。横着者も正直になり。利己主義の者も獻身的になるのを禁じ得ぬのである。余は先生を想ふ毎に、何となくユーゴーの哀史の冒頭に出て來る、破獄奴ジャン、ヴルジャンを救濟したる、老僧正を聯想せずには居られぬ。或はユーゴーは、ハリス先生をモデルとして、彼の誰れも一夜の宿を假すもの無き破獄奴に、温かなる待遇を與へ、彼が惡心を起して、銀の燭臺を盜み去りたるを許して、却て之を彼に惠み與へたる、慈眼愛腸の老僧正を描きたのではないかと思ふのである。

先生の六尺有餘もある堂々たる雄姿、銀の冠の如く總々と垂れたる白髮、天を樂み、人を愛する心の滿ち溢れたる血色、麗はしき赭色の顔、其の惡魔も怖れず、世間も懼れず、泰然として安心したる歩趨、一として先生の何ものたるかを、説明せざるものはない。先生は神學者ではない。又雄辯なる説教者でもない。又先生は教會的政治家でもない。先生は只一個の基督者である。此の基督者たるところが何人も企て及ばない先生の特色である。

總ての宗教は、教理でない。人である。如何なる深奧なる教理を語つても、苟くも其人が、宗教そのものでなければ、其宗教は、只宗教の解剖圖とも云ふべき乾燥のものである。余は宗教の奧意は、書物よりも寧ろ人に依て、會得することが出來ると思ふ。何等教外別傳の奧意義を擧げざるも、白隱禪師を會得すれば、いくらか禪宗其物の見當が著くのであろ。律の奧意は、慈雲尊者によりて知り、念佛宗の妙諦は、行誡上人によりて知り、儒教の眞義は、元田先生によりて知り、即ち基督教の如きも、オーゴスチンよりカルヴインに至るまでの神學を暗んずるよりも、寧ろ新島先生や、ハリス先生によりて、知ることが出來ると思ふ。ハリス先生の如きは、其人が即ち説教である。其人が即ち基督教である。

余はハリス先生によりて、意力が單に力であるのみならず。愛も亦力である。善も亦力であり。獻身的精神も亦力であるといふことを、知り得るのである。加州問題に對する態度などを思へば、何んとなく不快の念を禁じ得ぬのである。然かし、米人に對する不快の念も、其米人中には、ハリス先生の如き、基督教の極意を實行する人がある、と思へば、其の不快の念も消散して、基督教の文明が、必ずしも虚飾のみでないと云ふことも、了解せらるゝのである。語を換て言へば、一人のハリス先生は、萬卷の基督教に關する著作よりも、基督の爲めに證をなして居る。一人のハリス先生は、萬言の日米親交の論文よりも、日米親交の紐帶となつて居る。此を以て、余は愈々愛も亦力であり、誠も亦力であり、獻身的精神も亦力であるといふことを確信するのである。

先生が明治の初期函館の領事となつて、日本に來られて以來、殆んど半世紀に近いであらうと思ふ。其の間、日本の爲めに盡されたことは、言葉に盡せる限ではない。先帝陛下は先生に勳三等を賜はつたが、我等の眼には、勳一等を賜はりても、過分とも思はぬほどである。

又曾て逝かれたる、ハリス夫人も、亦先生と共に、吾人の感謝を受くべき人であつた。夫人が病餘の身を以つて、貢獻せられたる事業、即ち其の非凡なる文學の才能を以て、或は詩を作り、或は日本の古文字を英譯し、彼我の情意、疏通するに努められたることも、此際想起せざるを得ぬのである。

吾人の願ふところ、唯だハリス先生が、再び歸來して、日本朝鮮の爲めに働かるゝことである。先生も、骨を其の働きたる朝鮮、若くは日本に埋めたいといふ考であるからして、必ず吾人の望を空うせられぬのであらうと思ふ。余の思ふ所は、此にて盡きぬのである。今は唯だ其の一斑を語りたるのみである。

支那問題 在東京 一記者

▲支那南北の爭鬪開始以來既に連旬にして其形勢今猶ほ定まらず、南北交々勝利を稱するも、兩者共に蹉跎進まず、只形勢を以て相當るといふに止まる。

▲近報南軍首腦は、某々國に對して其交戰團體たるとの承認を求めたりと傳ふるあり、或は又某國は南軍に其資金を供給せりと報ずるも、未だ其確的の事實を徵憑する能はざるなり、今日支那に利害關係を有する列國は皆不干涉主義を取り、其の自然の成行を傍觀すべしといふ有樣なり、尤も支那に在る外國人中には、自己の立場よりして、或ものは北京政府を助けんとし、或ものは南方革命軍を援けむとするものは之れある可しと雖も、是等は其本國政府と沒交涉なりと解するの外なく、關係諸國內にても、個人としては或は南人と親しみ、或は北人を喜ぶもの區々たるは言を待たずと雖も、政府として南北一方に加擔せむとするものは未だこれ有らず。

▲初め支那南北の爭起るや、或は曰く、支那の事は日本專ら之を處理し他國をして容喙せしむべからずと、或は曰く、歐羅巴諸國は今日戰爭最中にて、東洋の事に手を出すに遑あらず、從て我は列國に說いて支那問題を處理する爲め、必要の手段を取るの一切の委任を受く可しと、是等の言、今日とても一部の論客の提唱する所なるが如くなれども、共に實際に行はる可からざるの事たり、前者は所謂東洋モンロー主義なる爲なる可しと雖も、關係列國の情形を見るときは、是は到底今日に行はる可からず、又列國は、或場合に於て我に委託せざる可らざる事なしと云ふ可らずと雖も、是れ千九百年團匪事件の如き事變ありて、初めて之を言ふ可し、今日の如く北京は平生と異なることなく、南北の爭鬪亦四川其他山川隔絶の處に於てのみ行はれ、所在外國人は高みの見物を爲す間に於ては、我に一切の手段を委任するといふが如きことは有り得可からず。

▲吾人善隣國民といふ立場より之を見るときは、南北の一消一長を以て喜愛す可きにあらず、此度の事は到底友邦の不幸にして、其勝敗何れに歸するにせよ、支那人其損失を負擔せざる可からず、袁大總統は此度の擾亂に鑑みて、其の帝政宣布を止めたりと云ふも、其の善後の計は未だ立たざるなり、南方革命軍は、共和政體を擁護すると稱するも、其の民主自治の政治は何處に存せりや、此度の南北の爭點は、一は袁大總統を排せむとし、一は之を擁護せむとするものにして、畢竟對人問題にして政治問題にあらず、袁氏因より過りて且國民の興望既に去るときは、復た爲すある能はざるや論なしと雖も、袁氏に代るだけの人物あり、北京政府を倒すだけの實力ありて存するにあらざれば、此對人問題を解決するに由なし、往昔奈烈翁大帝列國と戰つて敗れ、此に初めて佛國の政體を變更するを得、奈烈翁第三世獨逸の爲めに擒にせられて、而して後に第三共和政治を開始するを得たり、古來國家の大事は、內憂外患共に至るの時に決するを例とす、徒らに斧勢を以て相爭ひ、時に妥協互讓して以て一時を彌縫するが如くば、其の形勢は決して定るをなきなり。

北鮮の山水 東拓理事 村田俊彥 (12)

六、金(其三)

金の貴き所以

以上の如く說き來りしと雖も、決して金を賤しむべしと云ふにはあらず、賤しきものなりと云ふにもあらず、金は貴むべきものなり。貴ときものなり。金が通用力を失ふは、世の特別の時にして、平時は、換言すれば最も多くの時代には、金即ち貨物なるのみならず、兩替の憂へたる不時の用に備ふべき貨物の豐富を圖るに富國強兵を實行するにも、先づ要すべきものは資金にして、戰に臨んでも亦然り、ナポレオンも、戰に要するもの第一金、第二金、第三金と云ひたることあり。且つ多くの資金を有し之を善用する國は民幸福なるのみならず、國亦强國として貴ばれ、孫子の所謂上策たる戰はずして勝を制し得るものなれば、前に述べたる注意は之を忘れざると共に、金の獲得は飽くまで之を努めざるべからず。アリストートルも太宰春臺も其說くところ金を賤しむべしと云ふにはあらず。唯金の通用力失ふべき時代あることを忘れざらんことを述べたるのみ。アリストートルも亦金の忽にすべからざるを說けり。太宰春臺も亦富國强兵は王者の道なりとし之を主張し、又之を爲すに通貨を饒多にすべきことを說き、河越侯が京都大佛の銅像を毀ちて寬文の錢を鑄らしし例に倣ひ、南部を首として、處々の大像を悉く毀ちて錢を鑄造すべく、金貨の制度も改良すべきことを唱道せし位なり。ブーアール氏曰く、通貨は善き召使なり、然れども危險なる主人なりと。然り主人とすれば危險なるものなり。爲に生ずる拜金、經濟上の過重視皆害あり召使とすれば善きものなり。又斯く召使は多く使用せざるべからず。召使多きほど民に取りても、國に取りても便益多かるべきは瞭々火を見るよりも明かなり。

各國の對金政策

茲に於てか各國金の吸收及び產出に最も心を碎く。英國が久しく世界に覇を稱へしも、百餘年前夙に貨幣の本位を變更して金の吸收に努めたる事、並に所々就中南弗に金鑛を有する事も其主因の一たらずんばあらず。年々南弗より英國に輸送する金は莫大なるものあり。トランスバールのみにても金產出額は年々三億千萬圓と云ふほどのものありて、之は殆んど英國の有となるものなり。我國にても德川幕府は佐渡の鑛山に恃むところ多かりき。薩摩藩亦鹿籠芹ケ野等の鑛山に依ること少からざりき。日露戰役の際に於ても、政府は技師を各地に派遣して金鑛を搜索せしめたることあり。其時東北の氣仙に於て一大金鑛の發見を唱ふるものあり。此風評外國に傳はりて、端無くも當時英國に於て募債中なりし外債の成立を便且つ速かならしめたり。蓋し我募債者は勿論金鑛の發見を募債交涉の材料と爲せしにはあらずと雖も、外人之を傳聞し我邦の富の增加を思ひ、自ら景氣を添へしものなるべし。

西伯利の製鐵業 我邦との需供關係(承前)

更に東部西比利亞を見れば貝加爾以東太平洋沿岸に至る迄鐵礦は至る所に存し其質良好なるもの少なからざれども同地方は開拓未だ手を經ず鐵材を需要す可き製造工業皆無の狀態にあれば此地方に製鐵所を起すことは到底成功の見込なし要するに尚早たるを免れざる可し、故に東部西比利亞に對しては吾人は今日に於て製鐵業よりは寧ろ鐵材を需要する製造工業就中農業機械の如きものを製造する工場の起業者を見むことを欲するものなり前述の意見は東部西比利亞全體に關して言ひたる所なれども其一部沿海州に關しては吾人全く別種の意見あり此一角に對しては吾人は製鐵所の急設を主張す其理由はオリガ及びウラディーミル兩灣に臨み海岸に沿うて最も良好なる鐵礦の存在するものあるに因るたり、單に此鐵礦を採掘して日本に輸出せば如何、由來其不足を感じつゝある日本は必ず喜んで之を需要す可く若し更に北部樺太の石炭を採用して製鐵の業を起し銑鐵より鋼に至るまで諸種の鐵材を製造せば今日鐵の需要旺盛なる時代に於て之を要用するもの豈獨り日本のみならむや、鐵質の良好なるに加へて事業の最大要件たる燃料を近くに有し更に海運至便の地を以てするに於て事業の盛大に至る可きは殆んど疑ふの餘地なきにあらずや、而して更に進むで此處に造船業を起せば如何、廣漠なる太平洋に航行する多數の船舶は多く太平洋沿岸の各地に於て製造修繕するの實況にあらずや、一の日本ありて造船に修繕に努力するも素より無限の需要に應ずる能はずして其造船所は常に晝夜兼行の狀態にあり、今日オリガ附近に製鐵、造船の起業を計畫するは時務の最も緊急なるものなり、是敢て先業者と競爭することなくして而も需要供給を調節するの捷徑なり(完)

京日詩壇

○渡鴨綠江 安永 春雨

浩蕩煙波綠鴨頭。白雲紅樹夕陽沈。鐵橋中斷快帆走。千里長江兩岐秋。

評曰、渲染具見畫理、三四殊警拔。

○同上 笹島 紫峰

一帶江流幾曲灣。居然扼得二州咽。將軍立馬知何處。雁叫九連城外山。

評曰、即景即興、却是有無限之感。

○渡鴨綠江 高田 小芥

權域呼應帶水隣。幾朝來往訂和親。玻璃不綠鴨何在。閑却長橋華日人。

評曰、玻璃七字奇巧。

○同上 永井 烏石

平蕪秋盡道迢迢。鴨綠江邊霜露凋。欲問當年鏖戰跡。颯輪如翼過長橋。

評曰、措辭不苟。

○洗劍亭對雪 高橋 空齋

洗劍那邊遺跡留。唯看樹々雪花稠。孤亭呼酒倚欄處。風帶餘腥撲鼻頭。

評曰、眼前之景移來又移人。

○同上 古城 梅溪

風喧深壑玉龍狂。飛雪繽紛日失光。洗劍亭前冰若劍。遊人意氣轉軒昂。

評曰、有壯士髮衝冠之狀。

特價六拾四錢(二割引)期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
新案特許三六二九八號 タイヨー萬年毛筆 (定價八十錢)

本品は從來有り觸れたるものと異り頗る苦心慘憺の結果實に精巧無比の製作品なれば如何なる文字も如何なる紙質と雖も自由に書き得るは勿論構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁を入れば端書三百枚迄は書き得れば携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ

右は今般全國發賣元タイヨー商會と朝鮮全道一手販賣の分權所有者小野黎三郎氏より其全權の委託を受け販賣を開始するに就ては此際披露として前記の特價二割引にて御需めに應じ候間至急御購求あれ

發賣元 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

セルと子ル
と帶地

花のたより

牛耳洞開城共に滿開の時が間近くなりました
花のそれよりも麗はしく且御身かるき御裝こそ頗る御大切と存じます。本年の流行が何處までに進步して居りますか弊店で是非共御一覽を願ひます

京城明治町二丁目
唐川吳服店
電話二六一番

御用命次第見品持參の上早速御伺ひ致します

新荷着

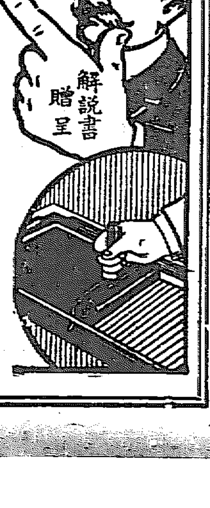
小學校を卒業して
女學校に入學出來ぬ事情のあるお方は此講義錄をお讀みなさい
本會に入會すれば 每月二回宛講義錄の配布を受る外有益多趣味な婦人雜誌女子の友を每月配布され父母の膝下で家事の傍ら僅少の學費を以て高等女學校程度の學力を得られます、讀者中分らぬ所は講師諸先生が親切に質問に答へられ學校で學ぶのと少しも違ひません、特に婦人に大切な裁縫造花編物などは女學校以上に詳しく學ぶ事が出來ます。

實修 女學講義錄

會長 從三位 下田歌子先生
講師は女子教育に經驗深き一流大家
卒業一箇年半
入會金免 獎學金其他種々 大特典あり
講義錄見本付 會則代無進呈 遠慮なく電話又は葉書にて申込あれ
講義錄每號 竹田宮妃殿下 北白川宮妃殿下 東伏見宮家 より每號送附の御下命を賜はりたり

大日本實修女學會 東京神田駿河臺 電話本局三〇〇三 二〇〇四番

300000
堀井謄寫版
◎斷じて迷はさる勿れ 粗惡なる模造品あり
◎發賣數三拾餘萬臺を超過せるは本器の眞價を的確に證明せり



解說書贈呈
販賣元 京城南大門通三丁目 堀井謄寫堂京城出張所 電話(四)一〇二 振替京城一〇五八番

◎商船臨檢の事由

敵國軍艦の狂暴＝英國の監視嚴重＝ローゼンチックと帝國艦隊との交替

英國海軍は曩に獨逸假装巡洋艦メーウエ號が各所に狂暴を演せし以來神經頗る過敏となり全般に於ける艦隊配備法を變更して殊更獨墺船の監視に努め居りしが殊に東洋方面に於ける獨墺船は百十數隻を算し上海に在る獨船は密かに炭水補給をなして出動準備を整へたりとの說傳はりたるより英國海軍の神經は愈々鋭敏となり遂に本邦商船に對して停船臨檢を頻發するに至りたる次第なりされば帝國政府は英國政府に對し東洋方面に於ける海上の保障は我に於て全責任を負ふべく從つて過般來頻々として商船を臨檢したる彼の假装艦ローゼンチック號は帝國艦隊と交替して其の根據地に引上ぐべしとの趣旨にて交渉を試みつゝあるもの如く近く解決を見るに至るべし（東京特電）

◎露批評家と敵軍作戰

土軍援兵の退却＝露軍今後の行動

露國軍事批評家は曰く露軍がハマダンを陷るゝや土耳古軍は其の危險なるを知りて直ちにバグダッドより援兵を遣れるも露軍の猛烈なる進擊に依りバグダッド鐵道を威脅するや援兵再び引返すの餘儀なきに至れり右援兵の引上げはケルマンシャの戰鬪並にインドウシウ間の電信線路通過地點なるケリンド占領の場合に於て露軍の行動を容易ならしめたり露軍はケリンドより八十里を距るハニギンに前進せんとしつゝあるが此行動は英軍の爲東南より脅かされんとするバグダッドの土軍の背後を攻擊する上に於て利便を加ふべしバグダッド方面に於ける露軍の現出はメソポタミヤ土軍と其の供給策源地との連絡を斷つに至るべく斯くて獨土軍の作戰は畫餅に歸することゝなるべし（露都電報）

◎安徽省人心恟々

柏文蔚の部下土匪の煽動に努む

安徽省は山東省動亂の影響を受けて人心の動搖甚しく富豪商賈は財貨を藏して表面窮乏を装ひ又柏文蔚の部下は山東の宗社黨と通謀し盛に謠言を放ち土匪の煽動に努め居れり（上海電報）

◎南軍武岡を占領す

八日湖南省武岡縣に迸したる南軍四千餘名は二派に分れ一は高砂を突き一は杜塘溪を襲ひて兩地の北兵を掃蕩し武岡一圓を完全に占領せり尚杜塘溪にて大砲四門小銃三百挺を鹵獲し士氣甚だ旺んなり（上海電報）

◎張作霖南征中止乎

十六日張作霖は北京より歸奉せり北京の消息を聞くに最近北京政府は戰局の前途を樂觀し南方北京共必しも張の力を要せずとの意見を抱き且つ有力なる革命黨員大連に入り込み宗社黨との聯合運動を爲すべきに依り警戒を要すとの秘電に接したるを以て張の南征は恐らく中止せらるゝならんと（大連特電）

◎選擧事件移審

石川縣金澤市に於ける選擧無効事件上告は十七日大審院にて前宣告を取消し新たに大阪控訴院に移す旨宣告ありたり（東京特電）

◎北鮮より

▲清津金融概況 客月清津に於ける金融狀況に就き農銀支店の報告に依れば舊年末の繁忙期を經過せる後の事とて取引頗る閑散なりき一時旺盛なりし牛皮、豆類、鰯等の輸出一段落を告げたる爲め資金の需要俄かに減じ前月に比し貸出高六萬餘圓の減少殘高に於て二萬五千圓餘の減額を示せり又工事中止の爲預金も著しく減少し前月に比すれば受拂ひ共に於て十八萬圓の減其他爲替受拂の金銀出納の減少著しく金融は頗る閑散裡に越月したるが金利には變動なきものゝ如し然るに來月は多少景氣の恢復と共に資金の需要從つて增加すべき豫想なりと

▲羅南金融狀況 一般に商取引は不振なるが殊に當月初旬舊正月に相當し鮮人の出市するもの極めて少く一層閑散の狀を呈し一方軍用地第二回目立退きの發表に因る在留市民の消沈と之が爲め將來に對する一般の影響を憂慮するに至らしめたるのみならず清津地方に出現せる一二商店整理の風聞は幾分世人の注意を惹きたるなど旁々金融は澁滯に陷れり而して陸軍側に於ける馬糧購入の發表は爾後資金の需要を喚起し且つ軍營工事の將來を豫想せる諸種の企業に對する資金の需要尠からざるが爲め金融は概して緊縮の狀態なり

▲會寧地方金融 會寧地方に於ける客月中の金融狀況を聞くに客月は恰も舊正月にて鮮商多くは休業したるが其後棉糸騰貴に連れ綿布類の高値に荷動き稍々活氣を呈したるも一般市況不振の際なれば著しく資金の移動を來すまでに至らず回收勝ちの有樣なり鮮銀會寧出張所に於ける客月中貸出額は前月に比し一萬六千八百餘圓の減少にて頗る平靜裡に月を越せり尚ほ今後暫くは商取引閑散の時期に向ふが爲め金融引續き緩漫なるべしと

▲間島市況 間島地方にては毎年當期は商況多少活氣を呈するを例とせるに拘らず本年は目下物價の奔騰が原因となりて生活程度の低き支那人及び朝鮮人の購買力を減退せしめたる結果氣配頗る沈靜なりと

◎亞鉛鑛共同經營

朝鮮平北龜城鑛山に方鉛鑛を發見したる古河合資會社と滿州より原鑛を買入れたる大阪亞鉛會社は各々鉛製部製錬所を新設し著々進捗を急ぎつゝありしが兩社とも漸く工事完成に近づきたるにつき更に原鑛を海外に求め大に發展を策しつゝあるが偶々三井鑛山部に於ても同一の企圖をなし此際各自同一の目的を以て同一方面に事業を計畫するは競爭其他種々の不便尠からざるのみならず多額の資本を要する事なれば此際三者共同の下に其步武を進むるの有利なるを說くものあるに至り頃來或方面に於ける亞鉛鑛等の共同經營につき協議中の處略協定成立したるやにて近く其實現を見るべしと（大阪）

◎渡鮮の大阪部隊

朝鮮に新設せらるべき十九、二十の兩師團の內第二十師團の步兵第三十九旅團司令部步兵第七十八聯隊の一個大隊は四月一日を以て大阪步兵第八聯隊にて編成せらるべく而して同隊へ編入さるゝ第八聯隊第一中隊長（湯美大尉）第三十七聯隊第一中隊長（安武大尉）和歌山步兵第六十一聯隊第一中隊長（大澤大尉）の各隊は十日前後を以て任地に出發の豫定なりと而して右につき參謀並に副官は四月初旬一足先に出發すと（大阪）

◎白蔘輸移出額

近時內地に於ける白蔘の需要增加に伴ひ朝鮮產白蔘の移出漸次增進の傾向あり二月中に於ける輸移出額總計八百二十斤五十八匁此見積價額一千二百八十六圓八十一錢中支那への輸出額四十斤の外は悉く內地への移出にして其數量七百八十斤五十八匁を算せり又一方輸移入額を見るに同月は滿洲方面より五百六十九斤の輸入あり外內地より四百五十三斤の移入を見たり因に一月以降の輸移出累計は一千五百三十二斤百四十三匁にして輸移入は一月中は皆無なりき

◎學校組合會議

京城學校組合會は久々振りに十七日午後二時十分より同會議場に於て開會出席議員十三名金谷府尹議長席に著き形の如く開會を宣し會議に入る劈頭先づ曾我勉氏は組合廳舍を京城商業會議所へ貸與したる理事者の處置に就て質問ありと述べたれども議長は後刻答辯すべしと受流し議案第一號大正四年度

▲歳入出豫算更正の件を議題とす之に對し吉田、牧山、大村、田中の諸氏より教員待遇上の親疎に就き質問ありたる上可決第二號案は戶別割減免用願の件なれども豫算案に附託し第三號補習科設置の件に就ては吉田及び田中の兩議員より教員の腦力を過勞するの嫌なきや果して補習教員の必要ありや若ありとすれば其効果如何との質問に對し理事者は日出夜學校の實例に因りて說明を爲し第四號案の簡易商業專修學校設置の件と合せて委員附託とし之れより

第五號案 補習學校及簡易商業專修學校設置に伴ふ授業料規定中改正の件
第六號案 技藝學校へ年額千二百圓の補助の件
第七號案 大正五年度歳入出豫算
第八號案 戶別割賦課等級調査

の各議案は何れも前記の補習學校又は專修學校設置、戶別割減免の各議案と共に一括して豫算委員を設け之れに附託することとなり一瀉千里に進行す次に

第九號案 組合の金庫事務を京城銀行へ囑託するの件
第十號案 一時借入金の件

其他一件を諮會者贊確定議となし最後に第十二號案組合會議場を京城商業會議所へ貸付するの件に就て贊否を問ふ組合廳舍貸借問題は前回の會議に於ても問題を起したる程にて日頃より學校組合の

▲廳舍が京城府と 同居せるに不滿を抱ける曾我勉氏は本案の廢案の動議を提出し安住、小川、遠山、牧山、大村諸氏の贊成あり學校組合事務所の移轉說を主張したるに田中、池田、大和三氏の之に反對したる原案贊成の穩和說出でたれど曾我氏容易に自說を讓らず遂に贊否を起立に求めたるに廢案說六に對し原案贊成者七にて破れ第二讀會に入るこゝに又もや曾我氏は會議所に貸與の期間を一年とあるを六箇月とし家賃を五十圓とあるを百圓とせんとする修正動議を提出せしも又前同樣一名の差にて破れ原案可決次に第七八の兩案を一括して議題とし第一讀會に於て峯尾出納役の說明あり結局曾我、牧山、吉田、田中、大村、遠山の六氏を委員に擧げ委員會附託となしたることに決定し十八日午後三時より委員會を開會することに決定七時散會したり

淸會線（五）

淸津貿易と鐵道（きね）

大正七年淸會線開通の年を以て北鮮及び國境開發の端緒と爲すべきは前に述べたる所なるが、次に起る問題は此線と連絡すべき吉會線の問題也彼の永興楡城間（楡城は淸會線中の一驛名にて淸津より五哩の地點にあり淸津羅南を合せたる三角形の尖端は即ち楡城なり）の鐵路連絡、即ち南元山より延長し來りたる所謂咸鏡線と淸會線との連絡が何の日に於て實現す可きやは未だ豫想の限にあらざれども、淸會線全通の後元山永興間の既定線路も竣工すれば必ず其後に於て工事に著手せらる可きは明なり、只三千萬圓の工費支出と時日の關係のみ。南元山と連絡したる後ちに於て吉會線の工事開始さるゝものと見る者多く、淸津府の如きは幾多の實狀より推算し、大正十七年を吉會線開通の年となせり、即ち之を北鮮國境鐵道貿易の第二期と爲すなり、今假に同年を以て吉會線開通の年となし第一期淸會線開通當時に於ける貿易の增加率（噸當及び一箇年平均增加額第一期同樣以下省略）に基き算出する時は、交通の便に伴ひ其鐵道沿線は勿論、北鮮國境一帶の產業勃興し、豫想以上の發達を來すものとせば、一般貿易に於て輸移出四十三萬六千百五十六圓、九千二百八十噸、輸移入四萬二千六百二十圓三萬三千三百五十五噸となり、通過貿易に於ては從來交通不便のため運賃關係に於て、浦鹽系統に依りたるもの多かりしも、本期に於ては淸津系統に依る可きもの多きため、一箇年平均增加額を四十萬圓として算出すれば、輸移出四十八萬一千二百四十九圓、十萬二百三十九噸、輸移入は輸移出の如き增加率を見る能はざるを以て、第一期と同樣の增加率に於て算出する時は二百八十八萬一千二百十三圓二萬四千百噸となり、沿岸貿易に於ては商業の發展に伴ひ、地方に於ける商權を把持するに至ると雖も、新に開拓す可き對外貿易とは其趣を異にし、第一期の如き增加率を見込む可からざれば、平均一年の增加額を二十萬圓として算出するに、移出百十八萬二千四百三十七圓、二萬五千百五十八噸となり、移入は第一期と同樣年額一萬一千百四十三圓の年平均增加額とせば九十一萬一千三百圓七千五百九十四噸と何れも增加を來し、合計に於て輸移出二百九萬九千八百四十二圓、四萬四千六百十七噸、輸移入七百七十九萬五千百三十三圓、六萬四千九百五十九噸となり以上輸移出入總計は九百十九萬四千九百七十五圓、十萬九千六百三十六噸の大增加を見るに至るべしと

◎成歡牧場發展計畫（東京）

鐵馬氏は勸業機關の據本田博士の後援を得て客年忠淸南道成歡の牧場を設置し牛、馬其他の牧養を開始したるが其後の成績順調に進み最近資本を增加して大に事業の發展を試むべしと

◎檜垣長官の容態

神經衰弱症の爲め久しく千葉縣下北條に於て靜養中なる檜垣京畿道長官は病勢未だ衰へざるを以て本月中旬歸任の豫定を更に延期せり

◎岩本法院長招宴

岩本京城地方法院長は二十日午後六時半より京城花月に主なる官民を招待し新任披露宴を催ふすべしと

◎簡易工業學校附設

來る四月一日より龍山公立普通學校に簡易工業學校を附設して鐵道局及び印刷局の職工を收容し鐵道工場及び印刷局より相當の人を講師として招き簡易なる工業教育を施すべしと

◎梅光女學院の生徒募集

下關市なる梅光女學院は今般廣く生徒を募集し居れるが同院は文部省の指定を受け修學年限五箇年の高等女學科を教授する所にして特に英語音樂、割烹裁縫は他に比して優り居れり校舍寄宿舍は市を離れたる高地にして心身の修養に便なりとて朝鮮其他鮮地より子女を託せる向き多く漸次增加の傾向ありと

◎巡查採用試驗期日

朝鮮總督府巡查採用試驗は來る四月一日より四日間巡查教習所に於て擧行さる可しと

人事消息

▲長谷場海四郎氏（大阪商船會社鎭南浦支店長） 十七日夕入京不如歸旅館へ
▲[illegible]也氏（大連民政署土木課員） 十七日夕入京大和屋旅館へ
▲前川[illegible]氏（會社員） 十七日入京朝鮮ホテル
▲[illegible]二氏（會社員） 同上
▲[illegible]氏（同） 同上
▲[illegible]氏（米人鑛山業） 同上
▲[illegible]ザー氏（同） 同上
▲[illegible]氏（英國商人） 同上

大阪財界通信

▲紡績擴張計畫 紡績會社は昨年中に於て擴張の計畫を樹てたるもの約三十萬錘あり之が資金に就ては增資又は社債によるもの多く現に增資の如き目下の狀勢一般に社が先を爭て斷行し著しく增資熱起りて其時機に於ても極めて適切の感あり若し此の機會を逸する時は或は今後再び今日の如き好機會に逢著し難きや測るべからずとして以て增資によらんとするもの續出し攝津を始め福島の如き資本僅か百三十五萬六千二百五十圓に過ぎずとて餘りに僅少の嫌あり事業上不利益尠からざれば之を三倍に增加せんとするの說株主中に出で八代社長は增資に反對せるも結局實行せんとするに至るべき形勢なり只時機問題となれるのみなるが今日も既に增資に內定せる外東洋紡も未拂込を徵收して現在の千四百廿五萬圓を二千五百萬圓とすべく計畫あり既に總會に於て決議せし社債三百萬圓は之を右增資によりて此の資金を振替へんとする意向を有し攝津も過日社債を募集せるも更に增資の計畫あり昨年來懸案となれる大小紡績も愈々增資決行に內定せるが尼崎も未拂込を徵收して增資するに至るべく而して和泉紡は多分七十萬圓位なれども日の出紡は百五十萬圓內外なるべし此の他擴張せるものにて增資によらんか或は社債によらんかと思案中のもの多く是等は只採算上及び株主の意向一つにて何れにか決定せんと日和見の態にあり

▲商船南洋航路 大阪商船にては愈々四月一日より南洋航路を開始する筈にて之が配船は新高丸（二千六百五十七噸）襟裳丸（三千二百八十四噸）の二隻を就役せしむることに決定し目下種々設備中なるが同航路は最も命令航路なるべし

認可私立 下關高等簿記學校 學生募集

四月中に新校舍落成す

普通科約百名速成科約四拾名年齡滿拾參歲より四拾歲迄小學卒業程度以上修業期間五ケ月乃至七ケ月卒業後は本校より內外會社銀行諸官省礦山商店等へ就職紹介す寄宿舍の設あり詳細は貳錢郵券添規則書請求すべし

重石高價購買

▲タングステン鑛石百分の拾より七十三迄含有の品高價現金買仕候
▲タングステン鑛山業者にして責任ある方へは代金前渡し可仕候
▲タングステン鑛山所有者へは採礦御引渡の御契約にて諸工具及び人夫賃等の立替の御相談に可應候
▲タングステン鑛石御拂渡の契約にて鑛山機械備付け御相談に可應候
▲タングステンに就き御用の方は鑛石小塊見本御送付の上御相談被下度候

京城貞洞二十五番地（電話二九三八番）
ジョージアレーン商會
（支店所在地 忠淸北道淸州）

釋宗演禪師著 袖珍形洋装本 金八拾錢 郵稅八錢

世の外

最新刊 禪界の巨匠たる師が專門の奧義を傾け禪理と科學に對する深遠なる智識とを傾倒し盡して通俗平易に精神修養の道を說述されたる近時の一大快著なり苟も世の中にありて煩悶するの徒は一度世の外に出でゝ安心の別路を辿れ

東京市神田區駿河臺袋町 光融館發行 振替口座東京二三一三番

電氣化學科新設

電機學校

（晝間）豫科一期二期本科一期（夜間）豫科一期二期本科一期受驗科選科
入學申込は來る三月末日限 規則書は申込次第送呈
東京市神田區錦町三の一八 振替東京一三一八四番

豫科講義愈出づ 校外生（校內生と同資格） 講習生（普通の通信教授） 隨時入學

ごの頁を開いても面白い四月號

講談雜誌

定價十二錢 改正 稅一錢 半一圓 前金郵稅共 八冊金一圓

口繪 光のどけき（湯方畵の四）
湖水乘切 明智左馬助……田邊南龍
嚴流島（落語）……三遊亭圓右
河內山 お牛の自害（講談）……錦城齋典山
男達芝居喧嘩……神田松鯉
轉宅（落語）……春風亭柳枝
永井源三郎 お早の危難（講談）……猫遊軒伯知
奥州娘白浪（長講）……悟道軒圓玉
貴族院開院時 田健次郎……伊藤痴遊
太鼓腹（落語）……三遊亭圓左
戀掛茶屋金襴綾……江木欄水
ずつこけ（落語）……柳亭左樂
後藤又兵衛……木偶坊伯鱗
雜錄 ▲寄席雜記……濱村米藏 ▲三遊亭圓右論……拙者 ▲小札の客より……鈴木泉三郎

賣捌 全國書店 東京本町 博文館

祝三千號記念

晉州城外 花屋旅館
同 城外 望月旅館
同 城內 南江旅館
同 城外 朝日旅館
同 城內 峯ノ屋旅館

◎移民來鮮狀況 ……三月下旬なるを以て本年度も右報告以後に於て漸く其盛期に入るものゝ……

◎慶南改良米輸出成績 ……を算す其仕向先は京城八八一、東京一一〇、基隆四一九、彦根二四、五六五、鹿兒島一一二八一、下關……神戶、大連等よりの注文月々に增加し……全く意外の好況なる……

……郎（二七）は昨年十二月初旬より各商店……午後零時半頃京城黃金町三丁目日稼……方紙屋根の軒端より發火せし……の內地人十六戶より洗濯物として依賴されたる衣類蒲團等約二十數點……

京阪合併大相撲

＝特派員發電＝ 十七日午後七時半大阪にて

▲大錦對馬を屠り加古西を仕止て西軍漸く頽勢を盛返す 觀客熱狂して重傷者二名を出す

五日目好天氣に惠まれ、加へて浦の乘り來れる事とて人氣は愈々盛んにして棧敷は前日中に賣切れとなり當日は午前中にて客止めの盛況を見るに至り相撲の取進むに連れて觀客の熱狂次第にその度を加へ來り火鉢、烟草盆などを手當り次第に投げつけその爲め觀客二名重傷を負ふに至れり

▲五日目の勝負 ○印は東京方

勝	負	勝	負
海山	○一港	朝日嶽	○四國洋
朝日潟	○翠ケ浦	玉の川	○荒山
明	○鳴門岩	常の花	○鶴ケ嶽
寒玉子	○相生	源氏山	○宮木山
宇都宮	休駒ケ嶽	大嵐	○朝緑
大砲	○大の川	宮城山	○稲鶴山
大達	○四海波	九州山	○凰車
黒瀬川	○緋縅	大鳴門	○響矢
大門	○紫雲龍		

大・泉 ○兩國
大蛇潟 ○時の矢
松の音 ○浦の濱
大 ○錦 千舟川
大錦 ○對馬洋
太 ○刀山 小染川

△中入後

○千葉嶋 上州山 ○梅川 日出山
○時ケ嶽 紅葉川 ○敷島 朝千鳥
○稲の穂 有若 ○龍ケ崎 玉櫻
○小常陸 初嵐 栃木山 休 西の森
○朝潮 朝日松
加古川 西の海

右の内主なる勝負を記さんに■寒玉子に相生は一合して右四ツとなり寒が掬つて寄るを相生俵際に上手投を打ちて同體に落ちしが行司は相の踏切早きを認め軍扇を寒に揚げしに物言とたり滿場に相生の勝を絶叫し洋服八字男土俵に上るや四方より茶碗猪口を土俵目蒐けて投げつけ大騷ぎを演じたるが四本柱の檢査員協議土俵預り寒の勝と決す

■九州山に凰車は突合つて凰叩きしが利かず悠々押進み凰殘して廻り込まんとするをドシンと突き放して九の勝

■兩國に大泉 は兩立ち上り敵の右手を打張り込み小手投に行かんとするを泉注文をつけ諸手に兩の左足を取りて引倒して泉の勝■大蛇潟に時の矢は時の矢は時候に突いて押し切らんとするを大蛇體を開きつゝ叩き込んで勝

■松の音に浦の濱 は突き合つて手四ツ解けて左四ツとなるや浦の吊るを松堪へて廻り込み反對に吊身に寄り進み浦が廻り込まんとするを上手投を打てば浦土俵を割り松の勝

■大錦に千舟川 は千舟張手を用ゐて突張り錦が攖いて反對に突進すろその左手を右手に捲くなり右足を搦んで得意の掛投げに行くを錦體を突きつけ兎れ氣味に寄倒して勝

■對馬洋に大錦 は對馬が右を差して寄らんとする出鼻を錦出投げを打てば美事に極りて對馬土俵を飛出す

■太刀山に小染川 右四つに渡りて太刀左上手を引て小染の寄り來るをグルリ廻りて吊出す

▲中入後 ■稲の穂に有若は烈しく突き合ひ有が押へて押さんとするを稲體を開きつゝ叩き込みに行き殘るを透さず素首落して稲の勝■栃木山に西の森は西前日土俵にて負傷のため休

六日目の好取組

黒瀬川に千舟川

對馬洋に加古川

西の海に大錦

大蛇潟に小染川

■朝潮に朝日松 は朝立ち上りさま潮の右手を諸手に殺して押進むを潮土俵を廻りて殘し右を押さんとすれば朝嫌ひて突き拔き再び朝の右手を殺して押進むを潮叩き朝日の體落ちて後潮土俵を割りしを行司は朝潮に蹈切りありしものと誤まり認め朝日に軍扇を揚げしが四本柱の檢査員皆朝潮の勝を認めし事とて結局土俵丈を預かり朝潮の勝

■西の海に加古川 は加古立上りさま右を差し掘り立つて寄り進むを西土俵を廻つて殘し捲き替へて左四つとなるや加古再び勇を鼓して寄り進みし西の堪ふるところを右上手より逆に捻れば西左足の膝をつき加古の勝は大喝采なりき

△六日目の取組

大阪方	東京方	大阪方	東京方
朝日嶽	梅川	宮木山	紅葉川
凰車	宇都宮	鶴ケ嶽	寒玉子
駒ケ嶽	源氏山	日出山	朝緑
鳴門岩	玉の川	大砲	龍ケ崎
朝千鳥	宮城山	朝日潟	稲の穂
相生	明	有若	四海波
大泉	大鳴門	初嵐	鳴門洋
時ケ嶽	九州山	大嵐	大の川
大門	小常陸	緋縅	浦の濱
大達	栃木山	二瀬川	紫雲龍
千舟川	黒瀬川		
松の音	兩國		

時の矢 朝潮
小染川 大蛇潟
朝日松 大錦
加古川 對馬洋
大錦 西の海
玉櫻 太刀山

●一週間の總攻撃

突貫！突貫！！ 倒れた戰友を―鐵條網を乘り越えて―

日獨戰爭の功に依り這回功七級金鵄勳章を拜領するの光榮を荷ひし豫備歩兵上等兵山下隆記氏は目下京城西大門郵便局員として勤務してゐる、十七日午後記者は同氏を往訪して當時の感想を叩いた氏は極めて眞面目に且謙遜して曰く「私は何も金鵄勳章を下賜さるゝやうな目醒しい働振もなかつたのです、然るに官報で發表されて其れを一瞥した際は恰度局の事務室に居りましたが飛び立つやうに嬉しく一刻も早く大和町に別居してゐる

兩親に知らしたい と思つて、其の朝ばかりは二區分六錢の電車賃を奮發して驅け著けました、別に戰功談として申上げる程の事もありませんが私は熊本縣出身で歩兵第五十六聯隊第十一中隊に附隨し大正三年八月三十日を以て長崎

港を出帆し九月六日山東省の龍口に上陸しました、落陸した當夜早速中隊長殿は吾々一同に對し昨夜

豫備歩兵上等兵山下隆記氏

日本兵が多數の馬賊に襲撃を受けた相であるから吾が隊は一層警戒を嚴重にせねばならぬとの警告がありましたので頭に荒膽を拔かれました翌日からは

大暴風雨となつて 其の中を行軍しましたが頸迄も浸つて幾つかの泥川を跋渉しました、總攻撃前は毎夜のやうに塹壕作業でありました、**何分敵前近距離**ですから、圓匙の音も嚙み殺しての暗中行動で、萬一敵兵から探知されたら隨分危險なことになりますから、或夜例の如く作業してゐますと遂に敵兵から**猛烈な機關銃の亂射を見舞はれた**、恰も私と隣合ひに並んでゐた中原上等兵が左肩胛部に貫通銃創を受けて打倒れた時は私も戰慄しました、愈々總攻撃に移つて約一週間打續きましたが、空を切つて炸裂する榴散彈の爆音は實に凄慘なものでした、併し其の時になりますと

苦痛も恐怖も程度 を越して所謂夢中の境涯になつて了つて別に何とも感じません、私等はビスマーク砲臺に向てゐましたが最後に約二里許り手前から強襲となり

鐵條網を乘り越えて突貫 をやりましたが實に壯絶な戰闘でありました、併し私の所屬中隊は常に危險な場所に戰爭した割合に死傷者は少なかつたのです、最も壯快に感じたのは青島陥落の朝、午前六時[illegible]のあなたから昇た旭日と共に各堡壘上に輝いた**日章旗が朝風に勇ましく飜つた**瞬間の其の印象は何時迄も忘れ難い快感でありました云々

●松浦丸トロール船と衝突

三菱所有汽船松浦丸（三一七九噸）は十五日神戸にて鉛三千六百噸を搭載し十六日午後三時門司通過浦鹽港へ航行の途中十七日午前十時角島北方四十五哩の地點にてトロール船と衝突し右舷船尾の底に損所を生じ浸水甚だしきより應急手當を施し早速門司に引返したり（門司特電）

●釜山の朝火事

十七日午前十時釜山水昌洞小川豊屋裏座敷より出火し全燒六棟九戸半、半燒二戸にて同十一時鎭火せり原因取調中（釜山特電）

●猩紅熱

京城本町五丁目中島てい子（七）は十三日發病十六日檢診猩紅熱と判明したり

●十七年の軍役

伊藤少將の趣味深き講演 平壤駐屯旅團長の留別宴

西伯利が矢醋に強くて[illegible]と云ひたい十六日の午後四時から來月へ地に歸還する平壤駐屯伊藤第卅一旅團長村井第六十九[illegible]

▲聯隊長の留別宴

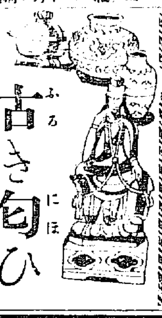
は聯隊構内の將校集會所で開かれた招きに應じ聯隊の[illegible]官民間有力者新聞記者等約三十名で定刻となるや聯隊酒保構内で勇壯猛烈な初年兵二年兵上等兵下士の銃劍術の基本術教習試合の數番に試合が演ぜられ一同吹き捲くる風に舞ひる黃塵を浴びつゝ熱心に觀覽した引續き來賓は聯隊將校と共に將校集會所控室に入り茲でお愛嬌の餘興がある武骨な軍人の中にもかうした趣味に長けし人ありと見え仲々の上出來で一番々々非常の大喝采を博する中にも松永道長官が『醉つ拂ひの仕末』解いて『お先きマックラ』と出で白木の婦人用船底枕を頂戴したのなどは拍手[illegible]

▲歩兵教練の苦心 と困難事に

士が盛んに進んで來る此時伊藤少將は精悍な顔を起して複雜な現役兵と在郷軍人等の關係に付一場の講演を行つたが其の中に[illegible]が軍隊の中心となり其幹となるものは豫備兵であるが[illegible]兵教練は豫備及び後備を通じ十七箇年に亘る[illegible]役中の準備である斯かる意味から予等は各地に[illegible]在郷軍人會の活動と[illegible]者諸君の後援に待つ外はない[illegible]官民有力[illegible]

■彼岸の入り 十八日彼岸に入ります、暑さも寒さも彼岸迄の言ひ傳へは更なり、一夜二夜の何とやらこまで口碑や詠吟にも上つて居る氣節ごと年ら今年は寒中に笛が出てひがんに花ならぬ眞正の吹雪を見るも時世なり時節なりでしよう？拐通日（元日より）が七十八日同暦が二月十五日で甲寅の十曜日は云はずも其神が時化ては例の有形の彼岸に到著は困難の向もあるべし

古さ匂ひ 美術館見物記



共進會あとの總督府博物館は石造復古式の美術館　さきに總督府博物館が新設された　館内の高麗燒や金利塔に遊きむかしを偲ぶのも春の日永の樂みであらう

□任那の遺跡

釜山を發して京城に向ふ汽車が釜山驛から洛東江畔を沿うてひた驅りに驅る時には誰れでもあの廣々とした河畔の

彼方に毀柵臾く金海邑

を思はぬ者はなからう金海の名を聞く人は又往時日本の植民地たりし任那の國を偲ばぬ者は無からう併しながら博物館本館の陳列棚を見た人は一千有餘年以前の任那の遺跡があまりに手近い處にあるのに驚くであらう、あまりに眼前にあるのに驚くであらう、自分は棚の裡にある翡翠の曲玉が全く日本のものと同一であると聞いて箏唄にある

◇領巾振る山の

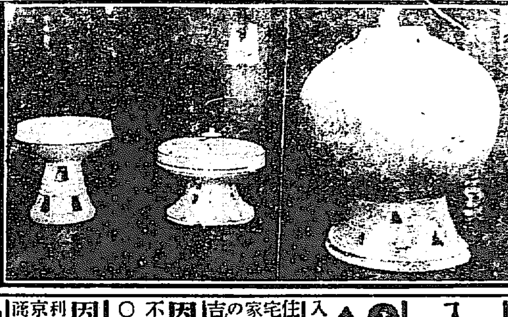
佐用姫を思うた、大葉子を思うた、然も翡翠の曲玉は千年の昔を語り顔に平氣な面であるでは無いか、また管になつた赤茶色の飾玉もあつた色硝子の玉もあつた、銅製杏葉の馬の頸飾りから錆びた鐵製の鞍もあつた、これ等の遺物がみな古き日本との連絡を有つといふはなしを聞いては我々にとつては寧ろ

懷かしい感に打たれ

ざるを得ない、尤も此の棚の品は慶尚南道晉州郡の中安面一洞にあつた古墳から發掘したものであるとの事でいくら當年の任那の地にあつた古墳から且つ日本と同一の遺物があつた處でこれを以て直ちに日本の大將の墓といふことは能きないのところでは

◇朝鮮人の古墳

か或は日本人の古墳かそれは疑問であるとは馬場主任の談しであつた、併て黒板博士は故安や金海に於ける日本人らしい古墳を見てよしその裡に數多の朝鮮製の副葬品があるとしても其れは現代日本の駐英大使が倫敦では英國製の器具を使うと同じ事で矢張り日本人の墓であると云はれたと聞くが總ての事はそれ〳〵専門の人にとつてはむづかしく慶尚南道晉州郡中安面一洞の古墳より發掘せる高杯と坩



であらう、棚には又古色蒼然たる素燒の甕があつた、素燒の高杯及坩もあつた、高杯はまた日本のそれと同じ系統をひいて居ると云ふことである、猶ほ棺に用ゐた鐵釘と錆びた青銅の鏡もあつたが就中純金製の金環はむかしの人の耳飾りとも思はれ其の極めて新らしい

且つ興味ある研究資料

◇燦然たる光輝

は所有主の生命を嘲けるやうに見受けられた、其の他慶尚北道高靈郡の古墳から發掘された當年の大伽倻の遺物には錆びた銀環の直刀があつた、他に又慶州普門里から出た新羅の遺物には精巧を極めたる金環を始め銅鈴、刀などがあつた、同じく皇南里古墳のものには

土塊のやうな固い樂器

があつた、猶ほ忠南扶餘の陵山里から出た今から一千三百七十八年前のものには木棺の破片や純白の漆喰や渡金の金具などがあつたが其の貴金屬の多くが失はれた處を見ると往年百濟が新羅と唐の聯合軍に攻められた時王陵を發かれた爲であらう

●八十圓を詐取す 福岡縣企[illegible]

●藥屋根から出火 十七[illegible]

●曹洞宗の法要 [illegible]去る十二月十五日以降本年二月二十七日迄に京城各町[illegible]

[illegible]方に突入し兇器を示して出金を脅迫[illegible]ろ爲め本町署に引致さる[illegible]歎きゐたること發覺し鍾路署の手に檢擧され取調べの上檢事局に送致

[illegible]九二、神戸一二、六三七、温泉津一三五[illegible]七三、津濱三三〇、博多四〇、四日市[illegible]が檢査賃借以來東京、大阪、兵庫、[illegible]

●續て上伸す 大阪は依然強硬に[illegible]

[illegible]仕向先各地其統計左の如し開始以來七箇月間に合計八萬五千百六十四叺[illegible]

[illegible]大邱榮山浦金堤江景各出張所に屬する者多數なりと[illegible]と云ふ能はざれども例年の成績に見るも良民の最も多く來鮮するは概ね[illegible]戸一千名内外にして左して多數なり[illegible]

京日案内

◉普通（一回四○金三十錢（四割引）一廻毎に金五錢増）

◉有給外交員採用 月給武拾圓以上 希望者履歴書携帯し京城花園町二三二番地 帝國圖書普及會支部 438

◉儀式用衣裳かし 南大門通五丁目 篠部商店 442

◉古本買入 ▲▲御報參上 電話八六五 ▲▲地方送金 京城本二 森田文光堂書店 561

▲古本賣受▼ ▲▲御報即時參上▼▼ 京城本町電話二五二七 ▲▲地方即時送金▼▼ ツボヤ書店 560

◉番外 自轉車便利なる方法にて現品先渡月賦販賣を開始候御申込あれ 南大門通三電二三二〇 ツヅキ商會 405

◉今申込の時機 僅の會費で新刊雜誌が共月によめる 廻讀會 京城本町一電話一三七八 松井松榮堂 563

春季圍碁大會 二十一日（春季皇靈祭）正午より開會 會費一圓 晝夕食 本町四丁目三三 川上碁席 433

入札 書畫骨董 十八日下見、十九日入札 南山町三丁目巴城館上 聚古堂 電話二二三番 443

▲花柳病外科專門 ▲司生堂醫院 入院隨意 京城南大門通（農工銀行裏） 434

住宅貸家 向貸家 京城吉野町一丁目 宅中の新地 家賃月金武拾圓内外 敷戸あり入用の方は旭町一丁目小森材木店又は吉野町一丁目中村修道方へ 518

恩給 年金類低利長期立換短期無保險地方在住者上京に及ばず便法あり其他擔保信用貸仕候 京城南大門外 ○御成町 山口屋 539

恩給 年金退隱料證書持參の方へ 多少を不問即時融通可申候 利息低廉にて面倒なる手續を要せず 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋 本店 540

◉はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 541

◉電話二千五百九十五番◉ はねつぎ うちみ くじき治療 ◉明治町交番より東フランス教會前 荒川 仁壽堂 548

皮膚病 專門 花柳病 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館坂の上 電話二一〇二番 551

質商 へ移轉廣告（元伊佐） 弊店は秘密を守り親切丁寧を旨とし御客樣の便利を計り申候 櫻井町一丁目大正館北横丁 黄金町と櫻井町角南入る 東屋 382

僞ドラッグ 有り注意 本月四日九日日本紙御覽 花柳病專門藥房 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 437

恩給 年金 低利長期立替 短期無保險地方在住者不及上京便法あり但短期は特に御相談申上候 京城若草町停留場南辻入 西村商會 576

恩給 年金公債買入 役場金立替並青島 ◉櫻井町大正館向 電話一一三一番 博多屋 本店 581

京城 春川 間合乘自働車 賃金片道四圓 ◉京城發午前七時 ◉春川發午後二時 京城水標橋五十番地 電三三八 京春自働車商會 支配人松田壽男 594

◉湯屋讓り渡す 門外最も有望の地 希望者は湯屋組合事務所電話一千六百三十八番へ御來談あり 418

ハモニカ 各種 獨逸製 定價四十錢 ▲九十五錢 ▲壹圓卅錢 （本品仕店は製作店に限る） 京城本町二丁目角 勢山樂器部

麻病梅毒妙藥 ◉渡邊藥劑師 責任製劑 京城南大門正面 電話二五八三番 救世藥舖 446

▲▲山葉オルガン 鈴木ヴァイオリン 譜面臺四圓 京城本町二丁目角 勢山樂器店 445

藥局生被雇度 調劑に充分經驗ある獨身者の藥局生に限る 給料不望 （姓名在社） 444

刻印紛失廣告 拙者儀從來使用し來りし認印楕圓形に（松尾）右印方形に（一號三巴商會領收）印二月十六日迄に罹り候也付自今右拾得者は無効に付廣告候也 黄金町三巴商會 松尾潔 448

（越）小供入用 十四歳以上十六迄當地居住者にて確實の保證人を要す 希望者は履歴書携帯本人來店 三越呉服店 庶務部

池坊 生花盛花大會 來る三月十九日より廿一日迄に至る三日間龍山驛前大陽館大廣間に於て春季大會開催仕候同好各位の御縦覽所上候乍略儀以紙上御案内申上候 龍山漢江通 今井秀甫 社中 各位

質 京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 （電話六三九番）

鰹節 銘茶 淺草海苔 東京澤庵 青嶋 仁川 商店 電話◯七〇九番 振替京城六〇番

藥博まで名譽賞牌をかち得たる 鐘馗印 虫除の妙藥 定價 小瓶 中瓶 大瓶 各藥店小間物雜貨店等にて販賣す 代理店 京城南大門通 新井藥房

千生瓢（157）

須藤南翠作　筒井年峰畫

誘惑（三）

佐々内藏助成政は、越中の險要に據つて、大に武備を整へ、常に秀吉の隙を覗つてゐるのであるが、秀吉は之が爲に越後の上杉景勝と盟誓を固うして、暗に其後を窺はしめ、加賀に前田利家を置いて、專ら防戰の備へを立てさせてある、此腹背の勁敵を無視して、兵を動す程、成政は無謀な勝でない事を、秀吉は能く承知してゐるので、此方面は、輕々しく討つて出る事はないとして、稍や意の安んじ難い者は、大和の筒井順慶法印である。彼は常に北畠氏の配下のやうな關係があるので、或は秀吉に背いて伊勢に組みすかとも思はるゝが、元來決斷に乏しく、常に首鼠兩端を持して、彷徨するのが例である。殊に島左近、松倉右近等には秀吉特に恩賞を厚うして、十分其心を攬つてあるので、順慶の意北畠に傾くとも、家臣等の諫めに已むことを得ず、遂に此方に黨する事は、略ぼ觀易い成行きであらう。唯だ侮り難いのは、四國の長曾我部元親であるが、是れは海運に依らねば、兵を出されぬ地位に在るのと、安藝の毛利輝元、備前の宇喜多秀家等の、我に加勢する者があるので、敢て恐るる事はない。殊に去年より仙石權兵衛尉秀久を、淡路の洲本に遣はし、小豆島を取り切つて、四國の抑へとしてあるので、此方面は少しも氣遣ふ所はない。今一つ紀州の根來には佐久間玄蕃允盛政が舍弟、同苗久右衛門尉安次、同く源六勝政、志津ヶ嶽の戰塲より落去して、此處に身を忍び、根來法師、諸國の浪人等を糾合して、折々一揆を起し、大和河内を騷がす憂ひはあるが、之には和泉の岸和田城に、中村孫平次一氏を城主として、其咽喉を扼させてあるので、之も後顧の憂ひもあるべき敵ではない。織田殿の一門はといふに、織田上野介信包は、全く秀吉が籠中の物である。於次丸秀勝は、養子の身であれば、言ふまでもない味方である。源五郎長益は、資性怯懦であつて、苟安ばかりを翼ふ人物、所詮信雄卿の催促に應じて、旗を飜へす性ではない。されば、故右大臣の女婿は如何といふに、前田孫四郎利長、蒲生飛彈守氏郷、中川藤兵衛尉秀政、孰れも無二の秀吉が與力である。さてまた織田の宿將は、丹羽五郎左衛門尉長秀、之が第一の頭痛であるが、今は眞實の病氣であつて見れば、時機を見て、誘惑の術を盡くさねばならぬ。池田紀伊守信輝入道勝入齋は、右大臣殿薨去の時、髻切つて入道した程、織田家昵近の大名である上に、一子古新輝政を、人質として北畠殿に差出し、且は領國も接近の地にある。其向背は豫め卜し難いが、之をだに手に入るれば、鬼と稱ばれた森武藏守長可（或は長一とも）は、其聟である、招かずして來り屬する利益がある。之を誘ぶ手段は、また別に考へねばなるまい。但瀧川左近將監一益ばかりは、信雄を暗愚の器と見限つて、信孝に合體し、刀折れ矢盡きて、面縛して降を乞うた者である。決して信雄と新に交渉のあるべき者でない事は知れてゐる。斯う數へ來て、只一つ秀吉の心にかゝるのは、德川左少將家康であつた。彼は海道一の弓取と稱へられて、弱年から驍名の高い名將である上に、右府とは常に攻守同盟を結んで、無二の友邦となつてゐた。殊に賓客として安土城に招かれた時は、秀吉は中國出征中で、親しく見聞しなかつたが、隨分手厚い饗應があつた、京の見物から、泉州堺に赴いた時、右府父子無慘の死を遂げられたのであつたが、幸ひにして身を全うして本國に歸り、其後は音もなく香もなく遠三の領國に引籠つて、武を練り、士を鍛へて、自衛の策に餘念がないのである。斯人若し東北條と結び北佐々と謀じて、信雄を助けて旗を擧げる事があつたら、丹羽池田の向背も、決して測り難いのである。と思ふと、去年の濱松訪問が、何うしても胡散臭くなつて來る。

桃　岡公州迂諫會句集

其葉蓁々女嫁ぐべく桃咲晃　多磨子
牛小屋に隣りて桃の家二軒　可舟
桃の花夫婦となりて節句哉　友萍
夫婦して耕す里や桃の花　文の舍
荷殘る倉一棟や桃の花　如風
辻堂に手向けし桃の一枝哉　奇石
厩臭き風に桃散る蕢哉　雨村
開帳の寺騷々し桃の花　石香
温突の圍みて庭の桃咲けり　細夢
轉任や官舍の桃も引繼ぎし　鳥兎
温突の背戸や一畝の桃の花　同

出代

出代の子に縋られし涙かな　有無
嚴しき掟引繼ぐ古參哉　孤舟
出代や犬追ひ返す町の角　雨村
出代や荒男花の名所より　石香
出代の竈に惜む名殘哉　鳥兎
ふと去て其儘逝に出代りぬ　同

新刊紹介

▲花筏（三月號）朝鮮唯一の俳句雜誌也第三卷にして體裁稍整ふ（非賣品釜山富平町一の三四花筏會）
▲流行（一三の三）十五錢東京市神田區表神保町東京堂
▲東華評論（一〇〇）十錢支那北京京城線米倉二六其社
▲養鷄指針（一四八）十五錢大阪市南區生野國分町四二番枝養鷄園
▲少女新聞（二）一錢東京市京橋區疊町一京社
▲保險新聞（六の五）九錢東京市神田區北神保町八其社
▲煉炭世界（三月號）一八錢東京市麴町區元平河町四大日本煉炭研究會本部
▲閻莽虎の卷（四の三）十八錢東京市芝區白金三光町四六二曾之日本社
▲日本警察新聞（三六一）五錢東京市芝區愛宕町二の一〇其社
▲角力世界（五の四六）角界の消息を知らんとする者は購讀の價値あり（十五錢東京市京橋區湊町一角力同好會）
▲科學世界（九の七）論說、理化、動植、礦物、數學、天文地文、電氣、寫眞、傳記、航空機、潛水艇等專門家の執筆になる有益多趣味の記事多し（二十錢東京市本郷區湯島四の八其社）
▲幼年ヱバナシ（一の三）美しき繪に片假名にて說明やら御伽噺を載せたり（七錢東京市牛込區中里町二三東京社）
▲朝鮮鐵道青年（六の三）主として朝鮮鐵道從業員の組織せる同會の機關雜誌にして鐵道に關する記事よりも寧ろ修養方面の記事に富めり（十五錢朝鮮龍山鐵道構內其會）
▲御少年（三の三）尙武冒險の氣風を涵養せん事に努めたる少年雜誌にして並國少年の意氣に投ずる所多分也（十錢東京市牛込區矢來町四其社）
▲通俗郵便物語　遞信省通信局長田中次郎氏が通信事業に從事する事十七年間の長き實驗を基礎とし一般通信事業の歷史沿革利用及び將來の傾向外國戰役と通信事業等の興味ある關係等を文學的に記述したるものにして之に種の書は一般に讀者の興味を惹く事少きに拘はらず本書は最も平易に且つ興味ある以て此の文明の利器を有利有益に利用するの道を教ふる好著述なり（八十錢東京市麴町三丁目丁未社）
▲日本膨脹論　著者後藤新平男が凡そ一切の政策は須らく生物學的原則を基礎とせざる可らずとの信念に基き近代文化の二大潮流たる民族主義と世界主義との極價民族主義の意義性質國勢を說くと同時に世界に於ける民族競走の現狀歷史上に於ける物心二派の傾向を略述し進んで日本民族の偉大性を闡明し併て我が民の民族的自覺を要求し且つ膨脹の方針と覺悟とを論述し最後に同男が植民政策に對する態度理想を說きたり通俗大學文庫第三編にしてポケット型の一小冊子に過ぎずと雖も多年の經驗を蘊蓄して最近の學理實例を錄とし論旨意外に深遠なるものあり（三十錢東京市四谷區傳馬町五二通俗大學會）
▲初心獨習將棋速成法　はしがき中に曰く此書は既に本筋を習つた人と之から素人のみで指して居た人には必ず筋に入るの手引となりますと（三十錢東京市日本橋區北槇町一〇大阪屋）

商況

大阪株式（米著）
大阪三品（米著）
仁川米豆取引所
十七日後場　大阪前場七十六錢……
▲後場伸び悩み
▲大に買ふ
▲大に賣る
後（止）寄付　十四圓五十六錢　十四圓五十七錢　十四圓六十一錢　十四圓五十四錢
◉懲役十年は不服　忠南扶餘……

月やく
止りて人知れず御心配の方はハガキにて神戸市布引町一丁目十一山口小町屋へ御申越下さい身體に害なく下る妙藥を人助けの爲御知らせ致ます

今の內に御用心あれ
發生の時期なり
梅毒胎毒橫根疳瘡リヨマチス等の病毒より來る病毒を治滅すると共に安全に體內より驅除すべき靈藥により其目的を遂す現今幾多の
梅毒藥　唯一丸
腹痛障害其他の副作用を起さず此兩特効を併用する梅毒專門藥なり　効なき方は速に此良藥により不安を去られよ
三日分四十錢　一週間八十錢　二週間一圓五十錢　一ケ月三圓　特製九圓　十三圓
全國有名藥店にて販賣せり（品切の時は直接御注文を乞ふ）「梅毒養生法」（要送料）
發賣元　東京市牛込區神樂坂上　中西藥局　中西莊吉　振替東京千五百番

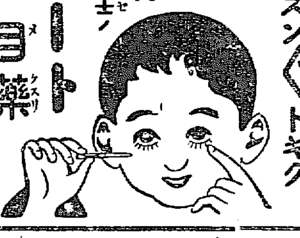
男女衛生サック
品質最優秀軟柔にして使用上毫も遺憾なく恐るべき花柳病の傳染を絶對に豫防し得る衛生上最必要品なり
男用拾貳個四拾錢　百個貳圓八拾錢　女用壹個五拾錢　特別上製壹圓（郵券代用必ず貳割增し）著金即刻送品
東京北品川町百五拾四番地　電話芝四七八　日新館製劑部

醇良清酒

釀造發賣元　大阪府堺市　肥塚源次郎
特約販賣店　京城本町二丁目　佐藤牧太郎
同　本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

閑靜にして避暑避寒に宜し

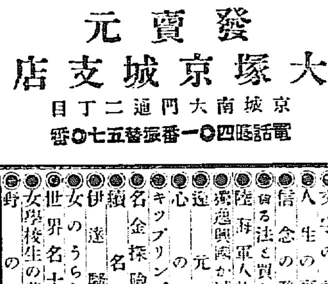
寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版　亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高評に可應候
京城日報社　寫眞製版部

目ニ見ヘテ　ズンズントキク
シュマズ　イタマヌ
井上博士ノ　ロート目藥

廿戔　十戔

國産　煙草代用
森永ミルクキャラメル
火災後の森永は猛然として奮起せり
第二工場の製造能力は倍加せられ
の製出多々益々辨ずべし
此際此時江湖各位一段の御愛用を希ふ
東京　大阪　森永製菓株式會社

ポケツト用　大廿個入　小十個入

祝三千號記念
山本利吉酒川出張所
米穀商　寺田道輔

醇良清酒
體裁優美
一打　半打　化粧箱詰

發賣元　大塚京城支店
京城南大門通二丁目　電話四〇〇一番　振替五七〇番

祝三千號記念
晉州行自働車發著場　慶南三千浦
御旅館　風景絶佳　静雅好適
沖野屋

日韓書房
新版報告
日鮮文對照　朝鮮鑛業令　定價金六拾錢　送料六錢
佐々木十九著　廣告心理學　定價一圓二十錢　送料十二錢
佐々木十九著　廣告販賣　定價一圓二十錢　送料十二錢
佐々木十九著　模範廣告術　定價一圓二十錢　送料十二錢
平岡散一著　自由自在廣告法　定價八十錢　送料八錢
京城本町二丁目　電話一四五・二二七番　朝鮮振替口座一一五番

祝三千號記念
慶南三千浦
吳服太物洋反物　食糧品一式　文房具紙類　度量衡器　諸新聞大阪賣
太平生命保險　橫濱火災海上保險　代理店
大野商會本店

▲三千浦　▲晉州
新式輕快　三千浦發著汽船便　道路平坦晉州間約一時間
大野回漕部
大野自動車部

新刊書御案內　大阪屋號書店

書名	著者	定價
生物學講話	丘淺次郎	四五〇
進化原論	谷津外	一五〇
物理學計算理論講義	[illegible]	九〇
無門關講義	釋宗活	八〇
文字の訓練	林、權藤	一七五
人生の裏面	村上浪六	一〇〇
信念の發揮	南條文雄	一〇〇
留る法と買わせる法	佐藤信太郎	七〇
陸海軍人物史論	安井滄溟	一二〇
獨逸興るか滅亡か	[illegible]	八〇
遊元錄	[illegible]	六〇
心の毋	稻毛詛風	九五
キップリング短篇小說	馬場恒吾譯	一二五
名金探險小說	[illegible]	五〇
續名金		五〇
伊達騷動	貞玉	三〇
女のうらおもて	[illegible]有美	九五
世界名士の癖	楢本秋村	四五
女學校生の花嫁さん	奥の仙見男	四〇
野の花	黑岩淚香	一三〇

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
三河丸　三月廿一日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
高砂丸　四月十日　正午出帆
仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○各港航路（沿岸航路を除く）の連絡切符發行仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
吉長丸　三月十八日　午後五時
天智丸　三月廿五日　出帆
宮島丸　三月廿三日
○木浦、群山、長崎行
安東丸　三月廿五日　午後二時
城津丸　三月二十日　出帆
○鎭南浦、大連行
安東丸　三月廿一日　午後二時
信濃川丸　三月廿八日　正午出帆
淳州丸　三月　日
○大連直行
潮州丸　三月廿一日　正午出帆
福州丸　三月廿六日
○群山、釜山、橫濱行
潮州丸　三月廿一日　午後二時
福州丸　三月　日　出帆
○淸津、浦鹽行（元山出帆）
須磨丸　三月廿七日
臺北丸　三月十七日　午後二時出帆
大智丸　三月廿二日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
安平丸　三月　日　後十時
新高丸　三月廿四日　後四時出
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇番　五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當社門司大阪支店より連絡乘船切符發賣仕候

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船　芝罘、大連行
共同丸　三月十九日後二時入　廿一日前九時出
朝鮮郵船主と協定にて荷客連絡輸送御取扱仕候　大連にて靑島行定期船に接續荷客共直通と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
第一阪鶴丸　城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）　月　日　後九時出港
第三　西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆）　月　日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　田口回漕部
元山代理店　京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船
本社　電話長一九五三番、二二三番
京城南大門通　京城呑客取次店　松原運送店
全羅丸　三月廿三日
京畿丸　四月二日
黃海丸　三月廿七日
咸鏡丸　三月　日
（木浦、群山各港經由）釜山發
穩城丸　三月廿四日
昌平丸　三月廿二日
鏡城丸　三月十八日
（元山より各港經由雄基行）元山發
忠淸丸　四月十二日
平安丸　三月二十日
（城津淸津浦鹽行　往航釜山より門司又は長崎）元山發
永興丸　毎月廿八回（北久昧五里浦行）元山發
盈德丸　三月廿一日（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港）釜山發
江陵丸　甕陽丸　毎日（長生浦方魚津寄港）（釜山浦項）發
三浦丸　三月　日（長承浦、統營、三千浦寄港）釜山發
海州丸　巨濟丸　慶賢丸　何日　釜山發
慶興丸　三月　日（各港經由濟州島四週）木浦發
順天丸　三日目毎（各港經由麗水より釜山行に接續）木浦發
公州丸　三月廿二日（南鮮多島海列島行月二回）木浦發
公州丸　三月十九日（各港經由濟州島東廻）木浦發
宗信丸　三月廿二日　仁川發
江原丸　三月　日（芝罘、大連寄港行）仁川發
鹿水丸　晉州丸　三月廿三日（各浦鎭南浦行）仁川發
錦江丸　南陽丸　毎日午前（江華島、海州行）仁川發
平安丸　三月廿三日　群山發
（後航大黑山、木浦、門司、若松行）三月十八日　若松發

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　立神丸　三月廿一日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　立神丸　三月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　三月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　三月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天兵丸　毎月二日九日十六日廿三日　三月廿一日　廿六日　午後十時出帆
釜山　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戸大阪行
秀吉丸　三月廿九日後四時出帆
大有丸　三月廿二日後四時出帆
神代丸　三月二十日後四時出帆
鼓龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　杉回漕部